

消 防 年 報

平成 3 1 年版



13mブーム付多目的消防車(平成30年度購入事業)

対馬市消防本部

編集にあたって

平成31年版年報は、平成30年中及び平成30年度における対馬市消防本部の実態を収録し、消防本部、消防団いわゆる対馬市消防の実績を広く紹介する目的をもって編纂しました。なお、収録にあたっては、平成30年中を対象にしましたが、予算に関係あるもの等については会計年度をもって収録しました。

この年報が関係機関並びに広く各方面に活用され、対馬島の消防行政に対する認識を一層深めていただければ幸いです。

令和元年 5月 21日

対馬市消防本部

目 次

管内の紹介	1
位置・管内図	2
管轄区域の状況	3
署所所在地・庁舎等	3
沿革の概要	4～21

◎ 一 総 務 一 ◎

消防組織	22
事務分掌	23～27
歴代消防長・消防署長等	28
消防相互応援協定等	29
消防予算・決算状況	30
職員の採用・退職状況	31
職員の階級別配置状況	31
職員の階級別年齢別状況	32
職員の階級別勤続年数状況	33
職員の研修等の状況	34
職員の免許・資格等取得状況	35

◎ 一 予 防 一 ◎

防火対象物現状表（署所別） 1 5 0 m ² 以上	36
防火対象物査察状況	37
火災予防指導等	38
消防用設備等着工届出等	39
火災予防条例等による届出等	40
消防法第7条に基づく同意	
（イ）構造別・工事別	41
（ロ）用途別	42
（ハ）消防用設備等別	42
対馬市少年婦人防火委員会組織図	43
危 険 物	
（イ）署所別施設一覧表	44
（ロ）規模別施設一覧表	45

（ハ）署所別・容量別屋外タンク貯蔵所	46
（ニ）危険物施設許可等	46
危険物施設査察状況	47

◎－警 防－◎

消防力の状況

（イ）消防本部・消防署	48
（ロ）消防団	48
（ハ）消防水利・市街地等	49
（ニ）署所別消防車両等	50
独居老人・寝たきり老人訪問指導	51
署所別降雨量状況	52

◎－通 信－◎

高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の概要	53
指令装置	53
指令システム系統図	53
消防無線設置状況図	54

◎－火 災－◎

過去10年間の火災発生状況	55
過去5年間の火災損害額状況	55
過去10年間の署所別火災発生状況	56
過去10年間の署所別火災損害額状況	56
火災種別一覧表	57
覚知別火災発生状況	58
町別火災発生状況	59
気象別火災発生状況	60
月別・曜日別・時間別火災発生状況	61
原因別火災発生状況	62
主要火災	63

◎ 一 救 急 一 ◎

救急一目統計	64
過去10年間の救急活動の推移	65
過去10年間の救急告示病院搬送の推移	66
過去10年間の島外搬送の推移	67
1. ヘリコプター搬送診療科目別状況	67
2. 島外搬送機関別状況	67
過去5年間の事故種別救急活動の推移	68
過去5年間の救急活動の推移	69
過去5年間の傷病程度別の推移	69
事故種別・月別救急状況	70
署所別・月別救急状況	71
事故種別・署所別出場状況	72
事故種別・曜日別出場状況	72
事故種別・時間別出場状況	73
事故種別・傷病程度別・性別搬送状況	74
事故種別・年齢区分別・性別搬送状況	75
署所別・医療機関等別搬送状況	76
医療機関等への収容所要時間別搬送状況	77
病院等の要請による救急出場件数及び搬送人員	77
救急隊による応急処置状況	78
覚知別出場状況	78
過去5年間の月別普通救命講習受講者数	79
町別・月別普通救命講習受講者数	79

◎ 一 救 助 一 ◎

救助活動事故種別状況	80
事故種別・出動人員活動人員状況	80
救助活動事故種別・発生場所別状況	81
救助活動のための機械器具等保有状況	82～83

◎ 一 消 防 団 一 ◎

消防団の機構図	84
消防団員の階級別・年齢別状況	85
消防団階級別人員	86
消防団手当・助成金等	86

管内の紹介

対馬市である対馬島は東西約 18km、南北約 82km と細長く、面積は約 707k m² で日本では 3 番目に大きい島である（沖縄、北方領土を除く）。

島の 17% は国定公園に指定されている。島を南北に分ける日本最大のリアス式海岸をもつ浅茅湾は、無数の小島と岬が交錯し、海上から島と岬を分別するのは難しい。

この浅茅湾には、海上自衛隊の基地があり、1900 年（明治 33 年）に旧日本海軍が東シナ海と日本海に通じる万関瀬戸を開削したため、島は上島と下島に分かれた。

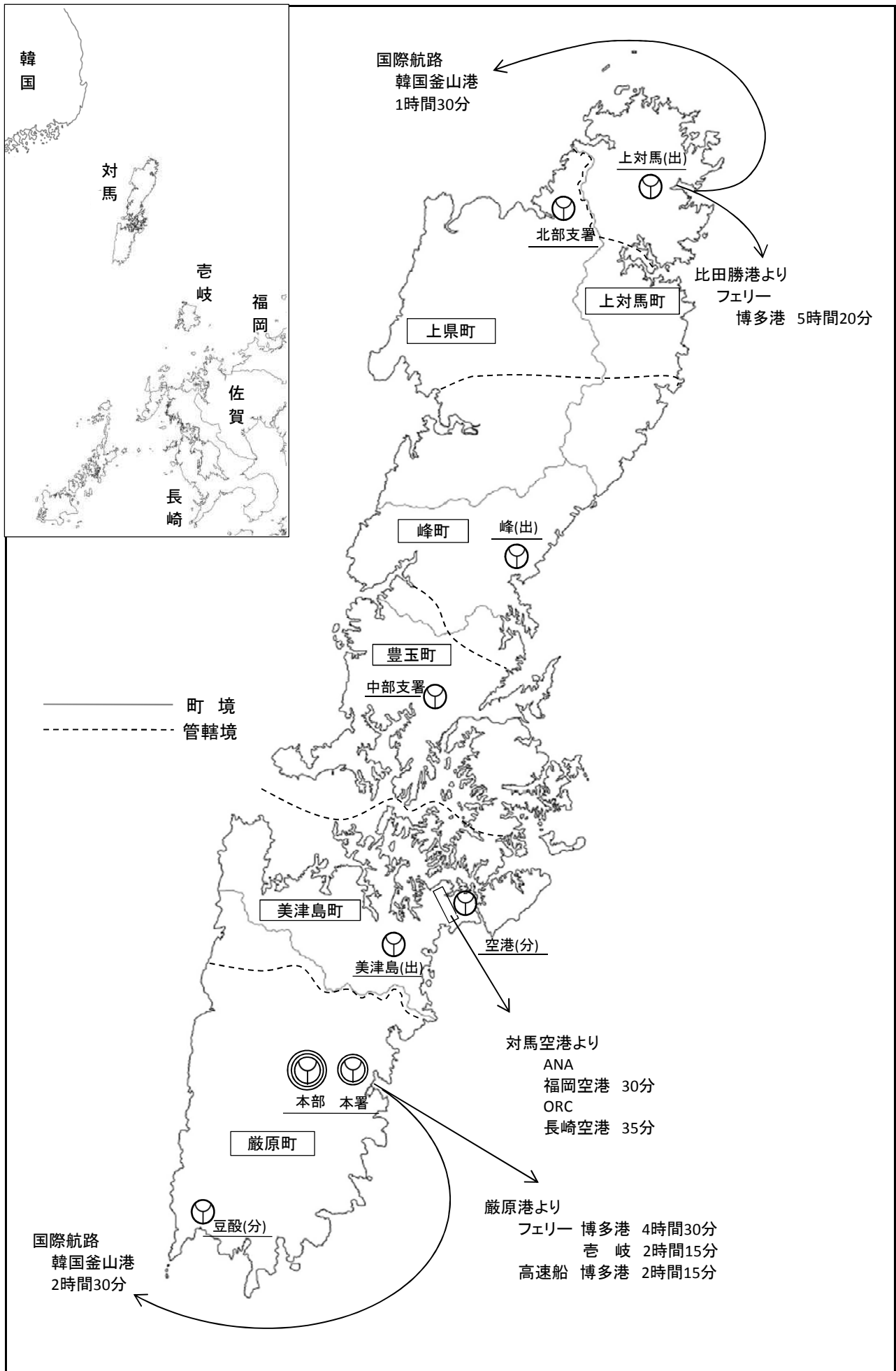
北は海峡を隔てて、韓国までわずか 49.5km で天気のよい日には肉眼で韓国が遠望できる。このような地理的位置ゆえ、古くから日本列島と大陸の接点として、文化的、経済的交流の中継地として極めて重要な役割を果たしてきた。

島の 89% は山林で、深い山々が連なっており、天然記念物のツシマヤマネコやツシマテンが棲息し、ツシマジカは全島的に見られる。

島の基幹産業は水産業が重要な位置を占めており、中でも真珠の養殖は全国的に有名である。農業は耕地が少なく島民の自給にも満たない。反対に林業は計画的に植林が進められ、椎茸の生産においては、県内でもトップクラスである。

観光においては、邪馬台国の古代より大陸と日本の接点として受け継がれ、日本最初の山城である金田の城（かなたのき）や日本三大墓所のひとつ万松院など歴史的文化的遺産と風光明媚な自然景観から成り立っている。空路は福岡間及び長崎間に定期航路を持ち、ダッシュエイト機が往復している。また海路は旅客フェリー、高速船ジェットフォイルが就航、さらには高速船の国際航路が厳原港、比田勝港と韓国釜山港との間に開設され、観光客も増加しリゾート地として脚光を浴びている。また、平成 29 年 10 月 31 日に朝鮮通信使に関する記録物がユネスコ記憶遺産に登録され、日韓の平和友好の象徴として全国的な広がりを見せている。

位置・管内図



管轄区域の状況

(平成31年4月1日現在)

管 轄 区 域 面 積	707.42 km ²
-------------	------------------------

別	人口			世帯数
	計	男	女	
合 計	31,372 人	15,894 人	15,478 人	15,061 世帯
本 署	9,609 人	4,820 人	4,789 人	5,104 世帯
豆 敷 所	1,531 人	747 人	784 人	801 世帯
空 港 所	管轄区域は空港内及び周辺区域（年間乗降客 約25万人）			
美 津 島 所	6,671 人	3,258 人	3,413 人	2,937 世帯
中 部 支 署	4,190 人	2,032 人	2,158 人	1,977 世帯
峰 出 張 所	4,121 人	2,013 人	2,108 人	1,994 世帯
北 部 支 署	2,315 人	1,553 人	762 人	800 世帯
上 対 馬 出 張 所	2,935 人	1,471 人	1,464 人	1,448 世帯

署所所在地・庁舎等

(平成31年4月1日現在)

別	所在地	建築年月日	構 造	延面積
署 所				
本 部 署	対馬市厳原町棧原 52番地2	平成9. 3. 31	鉄筋コンクリート 3階建	1,986.30m ²
豆 敷 所	対馬市厳原町豆敷 2697番地	平成26. 2. 28	鉄筋コンクリート 平屋建	256.50m ²
空 港 所	対馬市美津島町雞知 乙283番地	昭和58. 1. 15 増築13. 3. 31	鉄骨平屋建 増築 鉄骨 2階建て	105.00m ² 増築延264.70m ²
美 津 島 所	対馬市美津島町雞知 甲550番地2	平成20. 8. 31	鉄筋コンクリート 平屋建	222.40m ²
中 部 支 署	対馬市豊玉町仁位 935番地8	昭和49. 3. 31 増築22. 12. 21	補強コンクリートブロック 平屋建	150.40m ² 38.40m ²
峰 出 張 所	対馬市峰町佐賀 608番地1	平成27年3月26日	鉄筋コンクリート 平屋建	328.86m ²
北 部 支 署	対馬市上県町佐須奈 甲639番地5	平成23. 3. 28	鉄筋コンクリート 平屋建	402.20m ²
上 対 馬 出 張 所	対馬市上対馬町比田勝 556番地2	昭和50. 3. 31 増築23. 3. 23	鉄筋コンクリート 平屋建	146.60m ² 24.30m ²

沿 革 の 概 要

昭和49年中

- 3. 28 ポンプ車3台購入（本署、豊玉、上県出張所）
- 4. 1 対馬総町村組合消防本部発足
初代消防長 酒井 豊 就任
対馬総町村組合消防署発足
初代消防署長 苑田 幸人 就任
消防職員36名採用
- 4. 15 危険物業務長崎県より引き継ぐ
- 5. 9 救急車受贈（日本自動車工業会）本署
- 5. 29 救急車受贈（日本自動車工業会）豊玉、上県出張所
- 5. 30 指令車購入 本署
- 6. 1 本部、本署業務開始（救急業務を含む）
- 10. 17 対馬消防連絡協議会発足
- 12. 1 豊玉、上県出張所業務開始

昭和50年中

- 4. 17・18 防火管理者講習会（本署）
- 5. 8・9 防火管理者講習会（上対馬町中央公民館）
- 6. 14 第二代消防長 前間 重幸 就任
- 7. 2 指令車購入 上県出張所
- 8. 26 指令車購入 本署（旧本署分は豊玉出張所へ）

昭和51年中

- 3. 28 消防無線設置 本署、豊玉、上県出張所
- 4. 1 消防職員20名採用
- 7. 5 消防大学校第18期上級幹部科1名入校 8. 5 卒業
- 7. 9・10 第1回昇任学科試験（消防司令補、消防士長）
- 7. 23 救急車受贈（全国農業連合会）峰出張所
- 7. 24 ポンプ車3台購入 美津島、峰、上対馬出張所
- 7. 28 第1回昇任術科試験
- 8. 1 消防司令補4名、消防士長6名、消防副士長5名昇任
- 9. 20 消防大学校第21期予防科1名入校 12. 18 卒業
- 10. 1 消防職員1名採用
消防司令補1名 消防士長2名 昇任
- 10. 29 救急車受贈（日本損害保険協会）美津島出張所
- 11. 1 第二代消防署長 湊 俊郎 就任

	美津島、峰、上対馬出張所業務開始
11. 23	消防無線設置 美津島、峰、上対馬出張所
昭和52年中	
3. 28	大型化学車購入 本署
4. 1	消防職員6名採用
5. 11・12	防火管理者講習会（本署）
5. 19・20	防火管理者講習会（峰町対馬青年の家）
5. 23・24	防火管理者講習会（上対馬町中央公民館）
6. 28	指令車3台購入 美津島、峰、上対馬出張所
9. 21	救急車受贈（日本船舶振興会）上対馬出張所
10. 1	消防士長1名 昇任
10. 13	各出張所1名増員 9名体制
10. 17	予備ポンプ車購入
昭和53年中	
1. 1	消防士長1名 昇任
4. 1	消防職員5名採用
5. 15	血液供給対策事業開始（血液輸送業務受け持つ）
9. 13・14	第2回昇任学科試験
9. 26	消防大学校第3期危険物保安科1名入校 12. 20卒業
10. 24・25	防火管理者講習会（本署）
10. 26・27	防火管理者講習会（峰町対馬青年の家）
11. 1	消防司令補4名 昇任
	各出張所1名増員 10名体制
昭和54年中	
2. 16	化学車購入 上県出張所
7. 5	第三代消防長 梅野 貞省 就任
11. 6・7	防火管理者講習会（本署）
11. 8・9	防火管理者講習会（峰町対馬青年の家）
11. 20	林野火災特別地域指定（管内全域）
11. 23	救急医療情報システム（キャラクタディスプレイ装置）試験開始
昭和55年中	
2. 15	巖原病院、上対馬病院を救急病院に指定
3. 17	第3回昇任学科試験
3. 21	第3回昇任術科試験
3. 26	対馬島消防大会（日本消防協会 笹川良一氏来島）
3. 27	軽可搬式動力ポンプ1式5基購入（林野火災特別地域対策事業）

- 6. 1 消防士長2名 消防副士長3名 昇任
各出張所に所長任命
- 7. 1 第2次救急医療体制確立（国立対馬病院、厳原病院、上対馬病院で輪番制）
- 8. 7 長崎県消防長会予防担当課長会議開催（本署）
- 11. 1 対馬総町村組合火災予防条例全部改正施行
- 11. 12・13 防火管理者講習会（本署）
- 11. 16 第1回署所対抗駅伝大会（5区間 40.2km）
優勝 峰出張所チーム

昭和56年中

- 3. 10 職員待機宿舎建設（2戸建 豊玉出張所）
- 4. 1 消防職員2名採用
- 4. 17 国立対馬病院を救急病院に指定
- 4. 24 第四代消防長 長郷 哲夫 就任
- 9. 1 厳原町阿連地区を本署より美津島出張所に管轄変更
- 10. 21 消防大学校第23期上級幹部科1名入校 11. 19卒業
- 11. 12・13 防火管理者講習会（本署）
- 11. 17・18 防火管理者講習会（上対馬町中央公民館）
- 11. 20 第2回署所対抗駅伝大会（優勝 豊玉出張所チーム）

昭和57年中

- 3. 29 職員待機宿舎建設（4戸建 上県、峰出張所）
- 4. 1 第三代消防署長 川上 眞澄 就任
消防職員4名採用
- 7. 8 長崎県消防長会消防署長会議開催
- 9. 16 救急車受贈（日本消防協会）豊玉出張所
- 11. 20 第3回署所対抗駅伝大会（優勝 豊玉出張所チーム）
- 11. 24・25 防火管理者講習会（本署）
- 11. 30 指令車購入（本署）

昭和58年中

- 1. 12・13 防火管理者講習会（峰町対馬青年の家）
- 3. 1 長崎県知事との協定に基づき空港出張所開設
職員4名、化学消防車、ドライケミカル車配置
- 3. 2 第1回消防職員意見発表会（対馬支庁）
- 3. 22 職員待機宿舎建設（4戸建 上対馬、2戸建 豊玉出張所）
- 4. 1 消防職員3名採用
- 5. 10 第1回対馬空港合同消火救難訓練
- 10. 20 消防大学校第24期救急科1名入校 12. 21卒業

1 0. 2 6	第4回署所対抗駅伝大会（優勝 峰出張所チーム）
1 1. 2 4・2 5	防火管理者講習会（本署）
1 2. 6	血液輸送車受贈（長崎赤十字血液センター）
昭和59年中	
2. 2 7	救急車受贈（日本損害保険協会）本署配置
3. 5	第2回消防職員意見発表会（厳原町文化会館）
5. 2 3	消防本部、消防署開設10周年記念行事（峰町）
6. 1	第2回対馬空港合同消火救難訓練
1 1. 1・2	第4回昇任学科試験（消防司令補、消防士長）
1 1. 8	第5回署所対抗駅伝大会（優勝 峰出張所チーム）
1 1. 1 3	第4回昇任術科試験
昭和60年中	
3. 6	第3回消防職員意見発表会（十八銀行対馬支店）
3. 2 5	救急車購入 上県更新配置
4. 1	消防組織一部変更 五代消防長 根 勝男 就任（組合事務局長兼務） 第四代次長 川上 眞澄 就任（署長兼務） 副署長、出張所長を管理職に 消防司令1名 消防司令補3名 消防士長6名 消防副士長12名 昇任
3. 5	長崎県消防長会消防職員意見発表会開催（厳原町文化会館）
6. 2 5・2 6	防火管理者講習会（本署）
6. 4	第3回対馬空港合同消火救難訓練
6. 2 0	指令車購入（豊玉出張所更新配置）
6. 2 2	長崎県防災無線設置 運用開始
6. 2 3・2 7	異常降雨 厳戒体制（総雨量1,032mm）
9. 2 4	消防大学校第39期予防科1名入校 12. 2 0卒業
1 0. 9	第6回署所対抗駅伝大会（優勝 本署チーム）
昭和61年中	
3. 4	第4回消防職員意見発表会（厳原町商工会館）
4. 2 2	木櫛山（しょうぼうつしま）無線局開局
5. 7	消防大学校第33期上級幹部科1名入校 6. 4卒業
5. 8・9	防火管理者講習会（厳原町商工会館）
6. 4	第4回対馬空港合同消火救難訓練
1 0. 1 3	第7回署所対抗駅伝大会（優勝 本署チーム）
1 1. 2 2	C D-1型ポンプ車購入（本署更新配置）
1 2. 1 0	対馬少年婦人防火委員会設立

昭和62年中

- 2. 1 豊玉町千尋藻婦人防火クラブ結成
- 3. 1 3 第5回消防職員意見発表会（上対馬町中央公民館）
- 4. 1 「空港出張所」を「空港警備所」に改称
対馬婦人防火クラブ連絡協議会結成
- 6. 1 1 第5回対馬空港合同消火救難訓練
- 7. 2 0 指令車購入（上県出張所更新配置）
- 8. 1 美津島町鶏鳴少年消防クラブ結成
- 8. 3 1 台風12号対馬地方に多大の被害を与える
- 9. 3 0 CD-1型ポンプ車2台購入（豊玉、上県出張所更新配置）
- 10. 8・9 第8回署所対抗駅伝大会（優勝、上対馬出張所チーム）
- 10. 2 1・2 2 防火管理者講習会（甲種 上対馬中央公民館）
- 11. 1 2 厳原町親愛保育園幼年消防クラブ結成
- 11. 2 6 厳原権現山消防無線中継塔新設（台風12号被害により）

昭和63年中

- 2. 1 上対馬町鰐浦地区婦人防火クラブ結成
- 3. 1 2 第6回消防職員意見発表会（美津島町文化会館）
- 4. 1 第四代消防署長 小西 清明 就任
峰町佐賀保育所幼年消防クラブ結成
- 5. 2 美津島町鶏鳴幼稚園幼年消防クラブ結成
- 6. 1 消防大学校第43期警防科1名入校 7. 2 1 卒業
- 6. 1 4 第6回対馬空港合同消火救難訓練
- 8. 3 0 救急車受贈（日本消防協会）上対馬出張所配置
- 9. 1 9・2 0 第9回署所対抗駅伝大会（優勝、本署チーム）
- 10. 1 4 CD-1型ポンプ車購入（上対馬出張所更新配置）
- 10. 2 5・2 6 甲種防火管理者講習会（本署）
- 10. 2 7 乙種防火管理者講習会（本署）

平成元年中

- 3. 4 救急医療研究会（対馬いづはら病院）
- 3. 1 1 第7回消防職員意見発表会（峰町中対馬開発総合センター）
- 4. 1 第五代次長 小西 清明 就任
- 5. 1 1 消防大学校第38期上級幹部科1名入校 6. 9 卒業
- 6. 1 3 第7回対馬空港合同消火救難訓練
- 7. 2 0 厳原町厳原、北、久田幼稚園幼年消防クラブ結成
- 9. 1 3 CD-1型ポンプ車購入（美津島出張所更新配置）
- 10. 2 水槽付ポンプ車受贈 本署配置（日本損害保険協会）

- 10. 4・5 第10回署所対抗駅伝大会（優勝．豊玉出張所チーム）
- 10. 24 乙種防火管理者講習会（本署）
- 10. 25・26 甲種防火管理者講習会（上県）

平成2年中

- 1. 26 豊玉町仁位保育所幼年消防クラブ結成
- 2. 1 消防士長昇任学科試験
- 2. 2 消防司令補昇任学科試験
- 3. 8 救急車購入（峰出張所更新配置）
- 3. 16 第8回消防職員意見発表会（豊玉町）
- 3. 17 救急隊員研修会（対馬いづはら病院）
- 3. 26 消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
- 4. 1 消防職員4名採用
消防司令補4名 消防士長2名 消防副士長9名 昇任
- 5. 21 天皇、皇后両陛下御来島
- 5. 22 上県町佐須奈、佐護、仁田、伊奈、久原保育所幼年消防クラブ結成
- 7. 29 豊玉町南保育所幼年消防クラブ結成
- 9. 1 厳原町豆駝幼稚園幼年消防クラブ結成
- 9. 1 厳原町南、佐須保育所幼年消防クラブ結成
- 10. 8 CD-1型ポンプ車購入（峰出張所更新配置）
- 10. 16・17 第11回署所対抗駅伝大会（優勝．豊玉出張所チーム）
- 10. 25・26 甲種防火管理者講習会（対馬支庁別館）
- 11. 22 第8回対馬空港合同消火救難訓練

平成3年中

- 1. 8 消防長事務代理 小西 清明 就任
- 1. 28 消防士長昇任学科試験
- 2. 20 消防士長、消防副士長昇任術科試験
- 3. 14 第9回消防職員意見発表会（上県町）
- 3. 25 救助資器材一式購入（本署）
- 4. 1 第六代消防長 安藤 茂喜 就任
第六代次長兼第五代消防署長 小田 幹雄 就任
消防職員3名採用
消防司令3名、消防士長8名、消防副士長11名昇任
豊玉町小綱、乙宮保育所幼年消防クラブ結成
- 4. 4 消防大学校第11期幹部研修科1名入校 6. 14卒業
- 6. 12 峰町三根、志多賀保育所幼年消防クラブ結成
- 6. 17 第9回対馬空港合同消火救難訓練

- 6. 28 指令車購入（峰、上県出張所更新配置）
- 10. 1 峰町櫛保育所幼年消防クラブ結成
- 10. 8・9 第12回署所対抗駅伝大会（優勝 豊玉出張所チーム）
- 10. 23・24 甲種防火管理者講習会（本署）

平成4年中

- 1. 28 消防士長昇任学科試験
- 1. 29 消防司令補昇任学科試験
- 2. 20 消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
- 3. 15 第10回消防職員意見発表会（厳原町）
- 3. 20 空港警備所ケミカル車（県所有）更新配置
- 4. 1 消防職員1名採用
消防司令1名、消防司令補6名、消防副士長6名昇任
- 6. 1 美津島町今里、鴨居瀬保育所幼年消防クラブ結成
- 6. 15 指令車購入（美津島出張所更新配置）
- 7. 23 長崎県消防長会消防署長会議開催
- 9. 12 平成4年度対馬地域救急医療研究会（対馬支庁別館）
- 9. 22 防火広報車受贈（日本防火協会より対馬少年婦人防火委員会へ）
- 10. 2 第10回対馬空港合同消火救難訓練
- 10. 15・16 第13回署所対抗駅伝大会（優勝 本署2分隊チーム）
- 10. 20・21 甲種防火管理者講習会（長崎県信漁連対馬支所）
- 10. 22 救助工作車購入（本署）

平成5年中

- 3. 1 上対馬町泉、比田勝、琴、一重保育所幼年消防クラブ結成
- 3. 10 第11回消防職員意見発表会（上対馬町）
- 4. 1 第七代次長兼第六代消防署長 柚谷 重徳 就任
消防職員3名採用（条例定数73人）
消防司令2名 昇任
消防本部及び消防署を3課（総務、予防、警防）に組織
血液輸送業務を廃止
- 5. 12 第34回長崎県総合防災訓練（豊玉町仁位浜埋立地）
- 7. 12 第七代消防長 松村 良幸 就任
- 7. 20 指令車購入（本署更新配置）
- 8. 11 第八代消防長 原田 保吉 就任
- 9. 11 平成5年度対馬地域救急医療研究会（美津島町文化会館）
- 9. 21 第11回対馬空港合同消火救難訓練
- 10. 19・20 甲種防火管理者講習会（本署）

10. 21	タンカー事故対策訓練（久田岸壁）
11. 25	美津島町難知、大船越保育所幼年消防クラブ結成
11. 29・30	第14回署所対抗駅伝大会（優勝 美津島出張所チーム）
平成6年中	
2. 2	消防副士長昇任学科試験
2. 3	消防司令補昇任学科試験
3. 3	消防司令補、消防副士長昇任術科試験
3. 22	第12回消防職員意見発表会（厳原町）
3. 25	救急車購入（本署更新配置）
3. 28	消防無線機更新（基地局、固定局、中継局、多重無線、全国波、救急波）
4. 1	消防職員4名採用（条例定数77人、実員75人） 消防司令補1名 消防副士長2名 昇任
4. 22	救急Ⅱ課程修了者6名院内研修（対馬いづはら病院）
5. 18	対馬空港ハイジャック対応訓練
5. 31	消防救助技術指導大会署内予選会（豊玉）
9. 10	平成6年度対馬地域救急医療研究会（上対馬総合センター）
10. 17・18	甲種防火管理者講習会（本署）
10. 20・21	甲種防火管理者講習会（上県町役場）
11. 7～8	第15回署所対抗駅伝大会（優勝 美津島出張所チーム）
11. 28	化学車Ⅱ型購入（本署更新配置）
平成7年中	
2. 2	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2. 3	消防司令補昇任学科試験
2. 27	第12回対馬空港合同消火救難訓練
3. 8	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
3. 9	第13回消防職員意見発表会（美津島町）
4. 1	消防職員2名採用（条例定数77人、実員77人） 消防司令補3名 消防士長8名 消防副士長4名 昇任 消防本部警防課に通信係を新設、警防係と合わせ2係制に 長崎県営対馬空港航空機事故対策要綱の一部改正 消防署警防課を通信第1係、通信第2係に組織 「空港警備所」を「空港出張所」に改称
4. 6	平成7年度長崎県消防長会春季総会開催（厳原町文化会館）
4. 7	第18回長崎県下消防職員意見発表会開催（親和銀行対馬支店）
5. 23	第1回署内消防救助技術指導大会（峰出張所）
9. 9	平成7年度対馬地域救急医療研究会（厳原町文化会館）

10.	1	消防本部予防課に危険物係を新設、予防係と2係制に 消防署予防課を予防係、危険物係に組織
10.	18・19	甲種防火管理者講習会（親和銀行対馬支店）
11.	21・22	第16回署所対抗駅伝大会（優勝 本署2分隊チーム）
12.	7	第13回対馬空港合同消火救難訓練
12.	14	化学車Ⅱ型購入（上県出張所更新配置）
平成8年中		
2.	1	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2.	2	消防司令補昇任学科試験
3.	1	長崎県営対馬空港航空機事故対策要綱の一部改正
3.	8	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験 血液輸送車受贈（長崎赤十字血液センター）
3.	12	救急車購入（豊玉出張所更新配置）
3.	15	第14回消防職員意見発表会（峰町中央公民館）
3.	28	消防無線機新設（多重無線権現山～比田勝権現山間） 消防無線機新設（救急波 比田勝権現山）
3.	30	職員待機宿舎建設（4戸建 豊玉出張所）
4.	1	消防司令補5名 消防士長9名 昇任
4.	25	救急救命士国家試験1名合格
5.	2	第2回署内消防救助技術指導大会（峰出張所）
7.	1	消防本部警防課に救急係新設、警防課3係制に組織 消防署警防課に救急係新設、警防課3係制に組織
9.	7	平成8年度対馬地域救急医療研究会（美津島町文化会館）
10.	1	対馬総町村組合消防本部消防職員委員会に関する規則制定 同規程制定
10.	21・22	甲種防火管理者講習会（親和銀行対馬支店）
12.	19・20	第17回署所対抗駅伝大会（優勝 峰出張所チーム）
平成9年中		
1.	27	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1.	28	消防司令補昇任学科試験
3.	10	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
3.	11	第14回対馬空港合同消火救難訓練
3.	18	第15回消防職員意見発表会（豊玉町）
4.	1	消防司令補1名 消防士長7名 消防副士長1名 昇任
4.	21	消防本部・消防署新築移転、業務開始（下県郡厳原町大字棧原52番地第2）
4.	22	119番新庁舎受付開始（厳原町、美津島町、豊玉町）

4. 2 3	1 1 9 番新庁舎受付開始（峰町、上県町、上対馬町）
4. 2 4	救急救命士国家試験 2 名合格
5. 1	第九代消防長 柚谷 重徳 就任（消防監） 第八代次長 古藤 精一 就任（消防司令長） 消防司令 2 名昇任 消防本部に通信指令課及び通信課通信係を新設し、消防本部を 4 課 6 係制に組織（消防署の通信係を削る）
5. 1 4	第 3 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
8. 1 9	消防大学校第 3 7 期救助課 1 名入校 1 0. 1 7 卒業
9. 6	平成 9 年度対馬地域救急医療研究会（上県町中央公民館）
1 0. 2 1・2 2	甲種防火管理者講習会（本署）
1 0. 2 4	救急救命士国家試験 1 名合格
1 1. 5・6	第 1 8 回署所対抗駅伝大会（優勝 上県出張所チーム）
平成 1 0 年中	
1. 2 7	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1. 2 8	消防司令補昇任学科試験
2. 2 3	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
3. 4	第 1 5 回対馬空港合同消火救難訓練
3. 1 1	第 1 6 回消防職員意見発表会（上県町）
4. 1	消防職員 1 名採用 消防司令補 1 名 昇任
5. 2 2	第 4 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
9. 1 2	平成 1 0 年度対馬地域救急医療研究会（峰町開発総合センター）
1 0. 2 0	高度救急訓練用資器材購入（高研人形、除細動器、気道確保資機材、輸液セット）
1 0. 2 2・2 3	甲種防火管理者講習会（本署）
1 0. 2 3	救急救命士国家試験 1 名合格
1 2. 1・2	第 1 9 回署所対抗駅伝大会（優勝 上県出張所チーム）
平成 1 1 年中	
1. 2 0	高規格救急車購入（高度救命処置用資機材積載）（本署配置）
1. 2 7	救急車積載モニター購入（上対馬出張所配置） 消防士長、消防副士長昇任学科試験
1. 2 8	消防司令補昇任学科試験
2. 1	待機宿舎建設（4 戸建 本署）
2. 2 5	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
2. 2 6	指令車購入（豊玉出張所更新配置）
3. 1	高規格救急車運用開始（本署）

3.	7	高規格救急車運用開始記念式典
3.	9	第16回対馬空港合同消火救難訓練
3.	10	第17回消防職員意見発表会（上対馬町）
4.	1	第七代消防署長 古藤 精一 就任 消防職員1名採用 消防司令補1名 消防士長4名 消防副士長4名 昇任
5.	11	第5回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
9.	4	平成11年度対馬地域救急医療研究会（豊玉町豊玉公会堂）
9.	27	指令車購入（上県出張所更新配置）
10.	6	消防大学校第28期幹部研修科1名入校 12. 17卒業
10.	14・15	甲種防火管理者講習会（本署）
11.	10	救急救命士国家試験1名合格
11.	16・17	第20回署所対抗駅伝大会（優勝 上県出張所チーム）
12.	2	第17回対馬空港合同消火救難訓練
平成12年中		
2.	1	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2.	2	消防司令補昇任学科試験
2.	23	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
2.	28	CD-1型消防ポンプ車購入（本署更新配置）
3.	11	第18回消防職員意見発表会（美津島町）
4.	1	第十代消防長 古藤 精一 就任（消防監） 消防職員1名採用 消防司令補6名 消防士長4名 消防副士長4名 昇任
4.	27	九州地区消防職員意見発表会1名出場（大分市）
5.	10	長崎県消防長会予防担当課長会議開催（厳原町）
5.	16	第6回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
7.	1	消防司令2名昇任
9.	4	平成12年度対馬地域救急医療研究会（上対馬町上対馬総合センター）
10.	1	第九代次長 阿比留 仁志 就任（消防司令長） 第八代消防署長 吉田 有慶 就任（消防司令長）
11.	17・18	甲種防火管理者講習会（本署）
11.	1	長崎県消防長会予防事務研修会開催（厳原町） 救急救命士国家試験1名合格
11.	20・21	平成12年度消防職員マラソン大会
12.	1	平成12年度対馬空港合同消火救難訓練
平成13年中		

1. 2 9	消防副士長昇任学科試験
1. 3 0	消防司令補昇任学科試験
2. 2 0	第 1 9 回消防職員意見発表会（本署大会議室）
2. 2 6	消防司令補、消防副士長昇任術科試験
3. 8	C D - 1 型消防ポンプ自動車 2 台購入（豊玉、上県出張所更新配置）
4. 1	消防司令補 3 名 消防副士長 2 名 昇任
4. 1 9	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 2 5	第 7 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
4. 2 6	九州地区消防職員意見発表会 1 名出場（佐賀市）
5. 2 2	第 4 2 回長崎県総合防災訓練（美津島町「グリーンピアつしま」）
9. 8	平成 1 3 年度対馬地域救急医療研究会（厳原町文化会館）
1 0. 1 6 ・ 1 7	甲種防火管理者講習会（本署）
1 1. 1	救急救命士国家試験 2 名合格
1 1. 7	血液輸送車受贈（本署 長崎赤十字血液センター）
1 1. 2 0	平成 1 3 年度対馬空港合同消火救難訓練
1 2. 3 ・ 4	平成 1 3 年度消防職員マラソン大会
平成 1 4 年中	
1. 2 8	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1. 2 9	消防司令補昇任学科試験
2. 2 5	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験 高規格救急車購入（高度救命処置用資機材積載）（豊玉出張所配置）
3. 2 8	2 B 型救急車受贈（山之内製薬より）
4. 1	消防司令 2 名 消防司令補 6 名 消防士長 1 名 消防副士長 1 名 昇任
5. 1	第 8 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
7. 1 1	長崎県消防長会総務担当課長会議開催（厳原町）
9. 7	平成 1 4 年度対馬地域救急医療研究会（美津島町文化会館）
1 1. 5	救急救命士国家試験 2 名合格
1 1. 1 8 ・ 1 9	平成 1 4 年度消防職員マラソン大会
1 1. 2 6	長崎県消防長会消防署長会議開催（厳原町）
1 2. 6	平成 1 4 年度対馬空港合同消火救難訓練
平成 1 5 年中	
1. 2 7	消防副士長昇任学科試験
1. 2 8	消防司令補昇任学科試験 高規格救急車購入（上県出張所配置）
2. 2 6	消防司令補、消防副士長昇任術科試験
3. 1 6	C D - 1 型消防ポンプ車購入（上対馬出張所更新配置）

3. 2 2	消防職員採用第1次試験
3. 2 3	消防職員採用第2次試験
3. 2 4	対馬地域メディカルコントロール協議会発足
3. 2 8	消防職員採用第3次試験
4. 1	消防職員1名採用 消防司令補1名 消防副士長1名 昇任
5. 1 2	第9回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
9. 1 3	平成15年度対馬地域救急医療研究会（上対馬総合センター）
10. 5	消防大学校第74期予防科1名入校 12. 13卒業
11. 4・5	平成15年度職員マラソン大会
11. 6	救急救命士国家試験2名合格
11. 27	CD-1型消防ポンプ車購入（美津島、峰出張所更新配置）
平成16年中	
2. 2	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2. 3	消防司令補昇任学科試験
2. 29	対馬総町村組合解散
3. 1	対馬市誕生（6町合併） 対馬市消防本部、対馬市消防署に改称 （条例定数80人に） 消防団事務、ヘリコプターによる急患搬送事務が消防本部の分掌事務に
3. 24	消防司令補、消防士長、消防副士長昇任術科試験
4. 1	第十一代消防長 阿比留 仁志 就任（消防監） 消防司令補2名 消防士長3名 消防副士長1名 昇任
5. 1	第十代次長 阿比留 健 就任（消防司令長）
5. 7	第10回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
7. 29	長崎県消防長会通信担当課長会議開催（厳原町）
9. 11	平成16年度対馬地域救急医療研究会（対馬支庁）
10. 2	消防大学校第38期幹部研修科1名入校 12. 10卒業 救急救命士国家試験2名合格
11. 4	美津島町婦人防火クラブ結成
11. 29・30	平成16年度消防職員マラソン大会
平成17年中	
1. 31	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2. 1	消防司令補昇任学科試験
3. 7	高規格救急車購入 運用開始（峰出張所配置）
3. 12	消防司令補、消防士長昇任術科試験

3. 2 3	救急救命士の気管挿管実習に関する業務委託契約書他 2 契約締結
4. 1	消防司令補 1 名 消防士長 2 名 昇任
4. 2 5	第 1 1 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
6. 4	第 5 8 回長崎県消防団大会（美津島町）
9. 1 7	平成 1 7 年度対馬地域救急医療研究会（美津島文化会館）
1 1. 2	救急救命士国家試験 2 名合格
1 1. 1 7・1 8	平成 1 7 年度消防職員マラソン大会
1 2. 7	対馬空港合同消火救難訓練
平成 1 8 年中	
1. 3 0	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1. 3 1	消防司令補昇任学科試験
1. 2 7	気管挿管認定救命士誕生 運用開始
3. 3	本署タンク車購入（本署更新配置）
3. 1 4	消防司令補、消防士長昇任術科試験
4. 1	消防職員 3 名採用
	消防司令 1 名 消防司令補 2 名 消防士長 1 名 昇任
1 1. 2 7	第 1 2 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
1 1. 2 0・2 1	平成 1 8 年度消防職員マラソン大会
平成 1 9 年中	
2. 5	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2. 6	消防司令補昇任学科試験
4. 1	消防職員 3 名採用
	第九代消防署長 永留 正司 就任（消防司令）
	救急救命士が行う特定行為に係る指示に関する委託契約締結
4. 2 0	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 2 3	第 1 3 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
1 1. 1 4	高規格救急車購入（美津島出張所配置）
1 1. 2 7・2 8	平成 1 9 年度消防職員マラソン大会
平成 2 0 年中	
1. 2 2	消防大学校第 9 期幹部科 1 名入校 3. 7 卒業
1. 2 8	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1. 2 9	消防司令補昇任学科試験
2. 1 6	消防司令補、消防士長昇任術科試験
2. 2 6	第 2 0 回消防職員意見発表会（厳原町）
4. 1	消防職員 5 名採用
	消防司令補 1 名 消防士長 1 名 昇任

4. 10	救急救命士国家試験 1 名合格
11. 24	第 14 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
11. 1	第十二代消防長 阿比留 健 就任（消防司令長）
11. 27・28	平成 20 年度消防職員マラソン大会
平成 21 年中	
1. 26	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1. 27	消防司令補昇任学科試験
2. 14	消防司令補、消防士長昇任術科試験
2. 20	第 21 回消防職員意見発表会（厳原町）
4. 1	消防職員 5 名採用 第十一代次長 竹中 英文 就任（消防司令） 第十代消防署長 原 昇一 就任（消防司令） 消防司令補 1 名 消防士長 1 名 昇任
4. 14	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 23	第 15 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
10. 26	消防大学校第 86 期警防科 1 名入校 卒業 12. 18
11. 26・27	平成 21 年度消防職員マラソン大会
平成 22 年中	
1. 28	第 22 回消防職員意見発表会（厳原町）
2. 1	消防士長、消防副士長昇任学科試験
2. 2	消防司令補昇任学科試験
4. 1	消防職員 6 名採用 第十三代消防長 竹中 英文 就任（消防司令長） 長崎県消防学校 教官 1 名派遣
4. 14	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 26	第 16 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
9. 1	第十二代消防次長 原 昇一 就任（消防司令）
11. 1・2	平成 22 年度消防職員署所対抗駅伝大会
11. 25	本署救助工作車Ⅱ型購入（本署更新配置）
平成 23 年中	
1. 24	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1. 25	消防司令補昇任学科試験
2. 1	第 23 回消防職員意見発表会（厳原町）
2. 16	消防士長・消防副士長昇任術科試験
3. 14	東日本大震災に伴う緊急消防援助隊 隊員 3 名派遣 3. 24 帰署
3. 28	消防署上県出張所新築移転 業務開始

(対馬市上県町佐須奈甲 639 番地 5)

消防署豊玉・峰・上対馬出張所増改築工事

4.	1	消防職員 6 名採用
		消防司令 2 名 消防士長 2 名 消防副士長 1 名 昇任
1 0.	1 7	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1 0.	1 8	消防司令補昇任学科試験
1 1.	7	消防副士長昇任術科試験
1 1.	2 1.	平成 2 3 年度消防職員署所対抗駅伝大会
平成 2 4 年中		
4.	1	消防職員 2 名採用
		消防副士長 1 名 昇任
		長崎県防災航空隊 隊員 1 名派遣
4.	1 0	救急救命士国家試験 2 名合格
4.	2 6	第 1 7 回署内消防救助技術指導大会 (本署 ほふく救出、はしご登はん)
1 0.	9	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1 0.	1 0	消防司令補昇任学科試験
1 0.	2 8	消防大学校第 3 1 期幹部科 1 名入校 1 2. 1 3 卒業
1 1.	5. 6	平成 2 4 年度消防職員署所対抗駅伝大会
1 1.	7	消防司令補、副士長昇任術科試験
平成 2 5 年中		
4.	1	第十一代消防署長 永留 弘和 就任 (消防司令)
		消防職員 4 名採用
		消防副士長 4 名 昇任
4.	8	救急救命士国家試験 1 名合格
4.	2 5	第 1 8 回署内消防救助技術指導大会 (本署 ほふく救出、はしご登はん)
1 0.	1 5	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1 0.	1 6	消防司令補昇任学科試験
1 1.	7	消防副士長昇任術科試験
1 1.	5・6	平成 2 5 年度消防職員署所対抗駅伝大会
平成 2 6 年中		
1.	1 5	消防大学校第 7 7 期上級幹部科 1 名入校 1. 3 1 卒業
2.	7	第 2 4 回消防職員意見発表会 (本署)
3.	3 1	救急救命士国家試験 1 名合格
4.	1	対馬市消防署 豆酛分遣所 開所
		消防職員 9 名採用
		消防司令 1 名、消防副士長 3 名 昇任 (条例定数 1 0 6 名に)

4. 2 4	第 1 9 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
9. 1	第十二代消防署長 中山 秀尚 就任（消防司令）
1 0. 1	消防職員 2 名採用
1 0. 1 5	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1 0. 1 6	消防司令補昇任学科試験
1 1. 6	消防司令補・消防副士長昇任術科試験
1 1. 5・6	平成 2 6 年度消防職員署所対抗駅伝大会
平成 2 7 年中	
2. 1 3	第 2 5 回消防職員意見発表会（本署）
3. 2 0	高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線運用開始
3. 3 1	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 1	消防職員 4 名採用
	消防副士長 5 名 昇任
4. 2 7・2 8	第 2 0 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
1 0. 1 4	消防士長、消防副士長昇任学科試験
1 0. 1 5	消防司令補昇任学科試験
1 0. 2 8・2 9	平成 2 7 年度消防職員署所対抗駅伝大会
平成 2 8 年中	
2. 1 2	第 2 6 回消防職員意見発表会（本署）
3. 3 1	救急救命士国家試験 1 名合格
4. 1	消防職員 1 3 名採用
	第十四代消防長 永留弘和 就任（消防司令長）
	消防司令 2 名、消防司令補 2 名、消防士長 1 名、消防副士長 7 名 昇任
4. 1 4	平成 2 8 年熊本地震に伴う緊急消防援助隊派遣 隊員 1 2 名 4. 2 5 帰署
4. 2 5	第 2 1 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
8. 2	消防士長、消防副士長昇任学科試験
8. 3	消防司令補昇任学科試験
8. 2 2	消防大学校第 1 0 0 期予防科 1 名入校 1 0. 1 3 卒業
1 0. 1	消防職員 1 名採用
1 0. 2 5・2 6	平成 2 8 年度消防職員署所対抗駅伝大会
平成 2 9 年中	
2. 6	第 2 7 回消防職員意見発表会（本署）
3. 2 7	高規格救急車購入（美津島救急車 更新）
3. 3 1	救急救命士国家試験 2 名合格

- 4. 1 第十三代消防次長 中山秀尚 就任（消防司令）
消防職員 8 名採用
長崎県防災航空隊 隊員 1 名派遣
消防司令 1 名、消防司令補 2 名、消防士長 1 名、消防副士長 4 名 昇任
- 4. 2 6 第 2 2 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
- 7. 6 平成 2 9 年 7 月九州北部豪雨に伴う緊急消防援助隊派遣
隊員 1 5 名 7. 2 1 帰署
- 8. 2 2 消防大学校第 5 0 期幹部科 1 名入校 卒業 1 0. 6
- 1 0. 1 第十三代消防署長 糸瀬 一生 就任（消防司令）
- 1 0. 2 6・2 7 平成 2 9 年度消防職員署所対抗駅伝大会
- 1 0. 1 1 消防士長、消防副士長昇任学科試験
- 1 0. 1 2 消防司令補昇任学科試験

平成 3 0 年中

- 2. 6 第 2 8 回消防職員意見発表会（本署）
- 3. 1 9 広報車購入（北部支署広報車 更新）
- 4. 1 第十五代消防長 主藤 庄司 就任（消防司令長）
第十四代消防次長 糸瀬 一生 就任（消防司令）
第十四代消防署長 修行 武智 就任（消防司令）
消防職員 7 名採用
消防司令 4 名、消防司令補 3 名、消防士長 4 名、消防副士長 5 名 昇任
- 4. 1 9 厳原町豆駝地区婦人防火クラブ解散
- 5. 8 第 2 3 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）
- 1 0. 1 0 消防士長、消防副士長昇任学科試験
- 1 0. 1 1 消防司令補昇任学科試験
- 1 0. 3 0. 3 1 平成 3 0 年度消防職員署所対抗駅伝大会

平成 3 1 年中

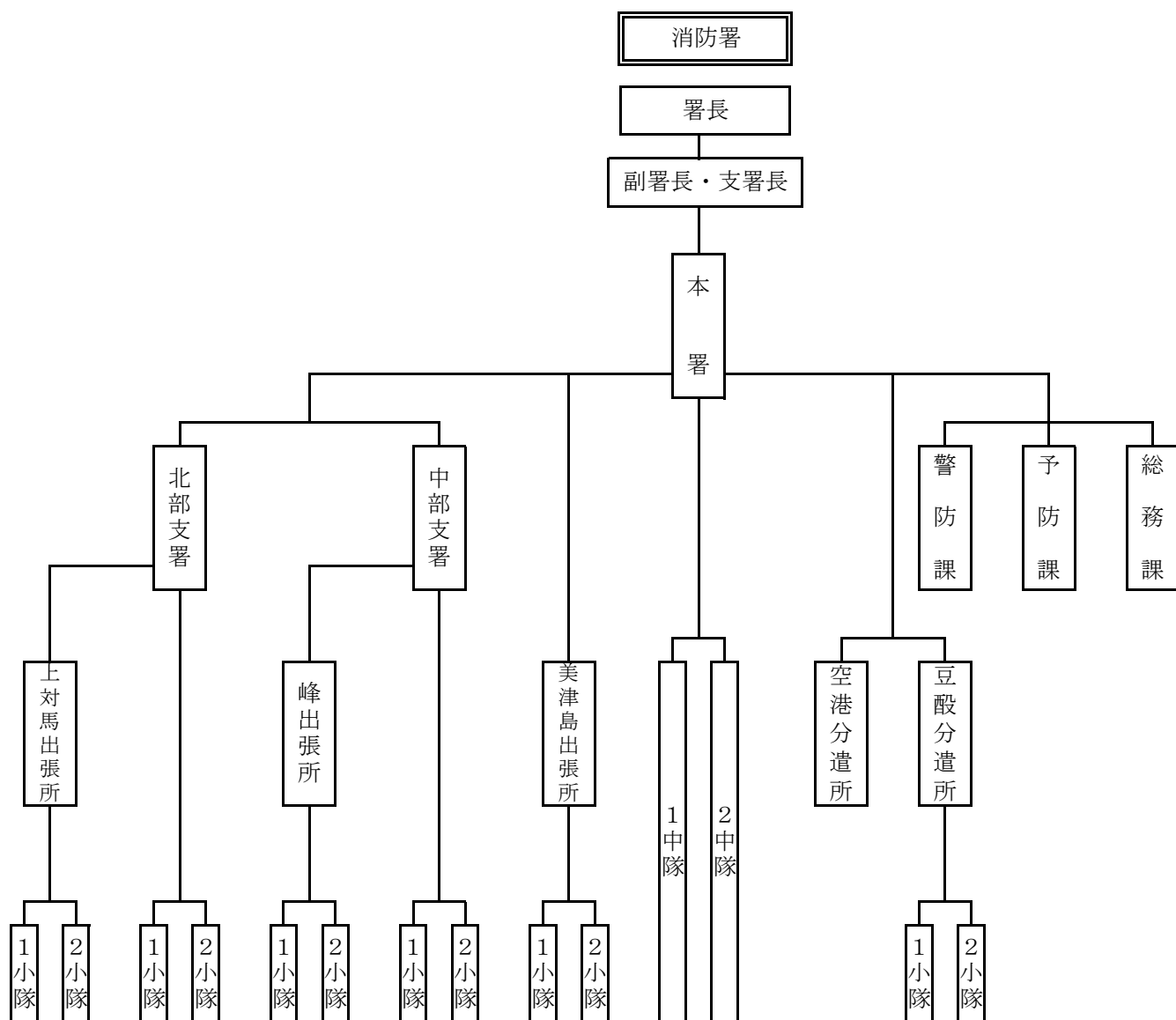
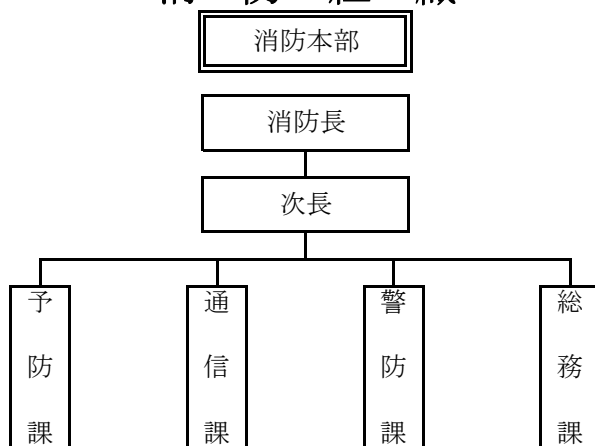
- 2. 6 第 2 9 回消防職員意見発表会（本署）
- 2. 2 8 ブーム付多目的消防ポンプ自動車購入・運用開始
- 3. 2 9 救命士国家試験 2 名合格
- 4. 1 消防職員 6 名採用
消防司令 3 名、消防司令補 2 名、消防士長 4 名、消防副士長 8 名 昇任
- 4. 2 2 第 2 4 回署内消防救助技術指導大会（本署 ほふく救出、はしご登はん）

総務



消防本部・消防署

消 防 組 織



事 務 分 掌

〔消防本部〕

1 総 務 課

- (1) 消防業務に関する総合的企画立案に関する事。
- (2) 組織及び人事に関する事。
- (3) 消防職員の教養、研修及び福利厚生に関する事。
- (4) 儀式及び表彰に関する事。
- (5) 予算及び経理に関する事。
- (6) 公印の保管に関する事。
- (7) 文書及び物件の收受並びに発送に関する事。
- (8) 例規等の制定及び改廃に関する事。
- (9) 消防の統計及び広報に関する事。
- (10) 消防の沿革記録に関する事。
- (11) 消防職員委員会に関する事。
- (12) 急患ヘリに関する事。
- (13) 庁舎の維持管理、備品の收受及び保管に関する事。
- (14) 職員の給料に関する事。
- (15) 給与、貸与品に関する事。
- (16) 消防応援協定に関する事。
- (17) 消防団の組織に関する事。
- (18) 消防団員の人事、研修及び福利厚生に関する事。
- (19) 消防団の儀式及び表彰に関する事。
- (20) 消防団員等の公務災害補償に関する事。
- (21) 消防団の施設等の維持管理に関する事。
- (22) その他消防団事務に関する事。
- (23) 事務処理の調整に関する事。
- (24) 他課の所管に属さない事。

2 警 防 課

- (1) 警防業務、救助業務及び救急業務に係る企画立案に関する事。
- (2) 火災その他の災害の予防警戒に関する事。
- (3) 救急及び救助に関する事。
- (4) 消防水利に関する事。

- (5) 消防技術の研究及び指導に関すること。
- (6) 消防機械器具及び救助資機材の管理運用に関すること。
- (7) 自主防災組織及び自衛消防隊の指導育成に関すること。
- (8) 消防団員の訓練指導及び消防団との連絡調整に関すること。
- (9) 救急資機材の管理に関すること。
- (10) 救急活動の記録に関すること。
- (11) 救急隊員の指導及び訓練に関すること。
- (12) 応急手当等の普及啓発及び講習に関すること。
- (13) 救急相談及び救急指導に関すること。
- (14) 医療機関等との連絡調整に関すること。
- (15) メディカルコントロール協議会に関すること。
- (16) 警防統計、救急統計及び救助統計に関すること。
- (17) その他警防事務に関すること。

3 通 信 課

- (1) 消防通信の運用及び通信統制に関すること。
- (2) 火災等の災害受信及び出動指令並びに非常招集に関すること。
- (3) 消防通信施設の維持管理に関すること。
- (4) 気象観測及び気象情報に関すること。
- (5) 火災警報の広報に関すること。
- (6) 災害関係情報の収集及び伝達に関すること。
- (7) 消防緊急情報システムの企画及び運営管理に関すること。
- (8) その他通信事務に関すること。

4 予 防 課

- (1) 予防業務の企画立案に関すること。
- (2) 建築物許可等の同意事務に関すること。
- (3) 防火管理者の講習及び指導育成に関すること。
- (4) 防災物品の規制に関すること。
- (5) 消防用設備等の着工、設置、検査及び指導に関すること。
- (6) 予防査察、違反対象物の是正及び告発等に関すること。
- (7) 火災の原因調査に関すること。
- (8) たき火又は喫煙の制限区域の指定に関すること。
- (9) 火災警報の発令及び解除に関すること。
- (10) 防火委員会に関すること。

- (11) 幼年消防、少年消防及び婦人防火クラブの指導育成に関すること。
- (12) 消防用設備等の法令適合証明に関すること。
- (13) 消防用設備等の点検報告等の届出に関すること。
- (14) 消防設備士の指導育成に関すること。
- (15) 火災、予防統計及び報告に関すること。
- (16) 予防関係各種届出に関すること。
- (17) 火災報告に関すること。
- (18) り災証明等に関すること。
- (19) その他火災予防事務に関すること。
- (20) 危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関すること。
- (21) 危険物製造所等の設置、変更許可及び完成検査に関すること。
- (22) 予防規程の認可に関すること。
- (23) 危険物製造所等の点検に関すること。
- (24) 危険物保安統括管理者、危険物保安監督者及び危険物取扱者の指導育成に関すること。
- (25) 指定可燃物及び指定数量未満の危険物等の火災予防措置に関すること。
- (26) 高圧ガス、火薬類、毒劇物等の火災予防措置に関すること。
- (27) 液化石油ガスの設備工事に関すること。
- (28) 危険物施設等の違反処理に関すること。
- (29) 危険物統計に関すること。
- (30) その他危険物事務に関すること。

〔消防署〕

1 総 務 班

- (1) 公印の管守に関すること。
- (2) 例規等文書の発送、收受及び処理並びに保管に関すること。
- (3) 職員の教養及び研修派遣に関すること。
- (4) 消防統計及び広報に関すること。
- (5) 休暇等に関すること。
- (6) 事務処理の調整に関すること。
- (7) 消防団及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (8) 消防表彰に関すること。
- (9) 消防施設等の維持管理、備品の保管に関すること。
- (10) 職員の福利厚生に関すること。
- (11) 他の班の所管に属さない事項。

2 警 防 救 助 班

- (1) 消防相互応援協定に関すること。
- (2) 火災その他災害の予防警戒に関すること。
- (3) 消防地理、水利に関すること。
- (4) 警防計画及び訓練に関すること。
- (5) 消防機器及び救助資機材の管理運用に関すること。
- (6) 自主防災組織及び自衛消防隊の指導育成に関すること。
- (7) 警防統計に関すること。
- (8) 警防救助活動の記録に関すること。
- (9) 消防隊員及び救助隊員の訓練に関すること。
- (10) 一般住宅、乾燥施設及び独居老人等の防火指導に関すること。
- (11) 消防団の訓練指導に関すること。
- (12) 消防隊及び救助隊の運用に関すること。
- (13) その他警防救助事務に関すること。

3 救 急 班

- (1) 救急資機材の管理に関すること。
- (2) 救急隊の指導及び訓練に関すること。
- (3) 救急隊の運用に関すること。
- (4) 救急活動の記録に関すること。
- (5) 応急手当等の普及啓発に関すること。
- (6) その他救急事務に関すること。

4 通 信 班

- (1) 消防広報に関すること。
- (2) 災害地点調査及び情報入力に関すること。
- (3) 気象及び災害等の情報並びに救急及び救助の情報に関すること。
- (4) 非常招集の運用に関すること。
- (5) 火災等の災害、救急及び救助事故の受信に関すること。
- (6) その他指令管制及び通信事務に関すること。

5 予 防 班

- (1) 防火防災管理者の指導育成に関すること。
- (2) 消防用設備等の指導に関すること。
- (3) 立入検査、違反対象物の是正及び告発等に関すること。
- (4) 火災の調査に関すること。
- (5) 幼年消防、少年消防及び婦人防火クラブの指導育成に関すること。

- (6) 予防広報に関すること。
- (7) 火災、その他災害の予防に関すること。
- (8) 消防設備士の指導育成に関すること。
- (9) 火災、予防統計及び報告に関すること。
- (10) 消防用設備等の点検報告等及び防火対象物定期点検報告の届出に関すること。
- (11) 予防関係各種届出に関すること。
- (12) り災証明等に関すること。
- (13) その他予防事務に関すること。

6 危 険 物 班

- (1) 危険物製造所等の指導及び予防査察に関すること。
- (2) 危険物製造所等の立入検査・違反施設の是正及び違反処理等に関すること。
- (3) 危険物取扱者の指導育成に関すること。
- (4) 指定数量未満の危険物及び指定可燃物等の火災予防措置に関すること。
- (5) 毒物及び劇物等の火災予防措置に関すること。
- (6) 危険物安全協会の事務処理に関すること。
- (7) 危険物統計に関すること。
- (8) その他危険物事務に関すること。

歴代消防長等

(平成31年4月1日現在)

	消 防 長		次 長	
	氏 名	在職期間	氏 名	在職期間
初 代	酒 井 豊	S49.4.1～S50.3.31 1年	小 島 毅 夫	S49.4.1～S49.10.6 6か月
二 代	前 間 重 幸	S50.6.14～S54.3.31 3年9か月	松 原 隆 夫	S49.10.25～S52.3.31 2年5か月
三 代	梅 野 貞 省	S54.7.5～S56.8.23 2年1か月	根 夨 勝 男	S52.4.1～S60.3.31 8年
四 代	長 郷 哲 夫	S56.8.24～S60.3.31 3年8か月	川 上 眞 澄	S60.4.1～H元.3.31 4年
五 代	根 夨 勝 男	S60.4.1～H3.1.7 5年10か月	小 西 清 明	H元.4.1～H3.3.31 2年
六 代	安 藤 茂 喜	H3.4.1～H5.7.11 2年3か月	小 田 幹 雄	H3.4.1～H5.3.31 2年
七 代	松 村 良 幸	H5.7.12～H5.8.10 1か月	柚 谷 重 徳	H5.4.1～H9.4.30 4年1か月
八 代	原 田 保 吉	H5.8.11～H9.4.30 3年9か月	古 藤 精 一	H9.5.1～H12.3.31 2年11か月
九 代	柚 谷 重 徳	H9.5.1～H12.3.31 2年11か月	阿 比 留 仁 志	H12.10.1～H16.3.31 3年4か月
十 代	古 藤 精 一	H12.4.1～H16.3.31 4年	阿 比 留 健	H16.5.1～H20.10.31 4年6か月
十 一 代	阿 比 留 仁 志	H16.4.1～H20.10.31 4年7か月	竹 中 英 文	H21.4.1～H22.3.31 1年
十 二 代	阿 比 留 健	H20.11.1～H22.3.31 1年5か月	原 昇 一	H22.9.1～H28.3.31 5年7か月
十 三 代	竹 中 英 文	H22.4.1～H28.3.31 6年	中 山 秀 尚	H29.4.1～H30.3.31 1年
十 四 代	永 留 弘 和	H28.4.1～H30.3.31 2年	糸 瀬 一 生	H30.4.1～ 就任
十 五 代	主 藤 庄 司	H30.4.1～ 就任		

歴代消防署長

(平成31年4月1日現在)

	消 防 署 長	
	氏 名	在職期間
初 代	苑 田 幸 人	S49.1.1～S51.10.31 2年10か月
二 代	湊 俊 郎	S51.11.1～S57.3.31 5年5か月
三 代	川 上 眞 澄	S57.4.1～S63.3.31 6年
四 代	小 西 清 明	S63.4.1～H3.3.31 3年
五 代	小 田 幹 雄	H3.4.1～H5.3.31 2年
六 代	柚 谷 重 徳	H5.4.1～H11.3.31 6年
七 代	古 藤 精 一	H11.4.1～H12.9.30 1年6か月
八 代	吉 田 有 慶	H12.10.1～H19.3.31 6年6か月
九 代	永 留 正 司	H19.4.1～H21.3.31 2年
十 代	原 昇 一	H21.4.1～H25.3.31 4年
十 一 代	永 留 弘 和	H25.4.1～H26.8.31 1年5か月
十 二 代	中 山 秀 尚	H26.9.1～H29.9.30 3年
十 三 代	糸 瀬 一 生	H29.10.1～H30.3.31 7か月
十 四 代	修 行 武 智	H30.4.1～ 就任

消防相互応援協定等

昭和51年4月1日 (以下実施日)	長崎県広域消防相互応援協定	長崎県各消防局・本部
昭和57年4月1日	長崎県営対馬空港消防協定	長崎県知事
昭和57年9月14日	対馬海上保安部との業務協定	対馬海上保安部長

消防予算・決算状況

(単位：千円)

項 目 節		2 9 年 度 予 算	3 0 年 度 予 算	3 1 年 度 予 算
消 防 費		1,047,781	956,859	981,691
常 備	消 防 費	711,499	662,214	666,191
	給 料	324,681	293,490	294,915
	職 員 手 当 等	209,244	197,592	197,691
	共 済 費	106,703	101,787	98,441
	賃 金	0	0	0
	報 償 費	806	806	806
	旅 費	10,366	9,527	10,271
	需 用 費	22,528	21,928	24,345
	役 務 費	9,265	10,201	11,369
	委 託 費	9,687	10,153	10,643
	使 用 料 ・ 賃 借 料	4,354	4,011	4,255
	備 品 購 入 費	1,023	947	1,453
	負 担 金 ・ 交 付 金	12,167	10,890	11,156
	補 償 補 填 ・ 賠 償 金	0	0	0
	公 課 費	675	882	846
非 常 備	消 防 費	143,650	142,796	136,039
	報 酬	44,395	43,491	43,491
	賃 金	0	0	0
	報 償 費	356	318	248
	旅 費	7,900	7,743	7,529
	需 用 費	18,249	16,548	16,118
	役 務 費	6,599	7,904	8,010
	委 託 料	44	44	44
	使 用 料 ・ 賃 借 料	560	560	560
	原 材 料 費	300	300	300
	備 品 購 入 費	417	433	472
	負 担 金 ・ 交 付 金	63,131	63,693	57,363
	補 償 ・ 補 填 ・ 賠 償 金	0	0	0
	償 還 金 ・ 利 子 及 び 割 引 料	0	0	0
	公 課 費	1,699	1,762	1,904
消 防 施 設	費	144,346	130,759	159,799
	需 用 費	3,000	2,500	2,628
	役 務 費	169	49	1,103
	委 託 料	6,928	0	28,800
	使 用 料 ・ 賃 借 料	0	0	0
	工 事 請 負 費	61,790	5,300	21,551
	公 有 財 産 購 入 費	0	0	0
	補 償 ・ 補 填 費	0	0	0
	備 品 購 入 費	66,606	117,754	85,761
	負 担 ・ 補 助 ・ 交 付 金	5,700	5,000	19,893
	公 課 費	153	156	63
防 災 対 策 費		48,286	21,090	19,662
水 防 費		0	0	0

職員の採用・退職状況

平成31年4月1日現在

年度 区分	計	49 ～ 10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
採用	177	95	1	1			1			3	3	6	5	6	6	2	4	11	4	13	9	7	6
退職	90	19		1			1	1	1		4	10	2	2	1	2	3	7	13	2	13	8	
条 例 数			77	77	77	77	77	80	80	80	83	83	83	83	83	83	83	106	106	106	106	106	106
現在員		76	77	77	77	77	77	76	75	78	77	73	76	80	85	85	86	90	81	92	88	87	93

※再任用含まず、現在員にあっては30年度以前まで3月31日現在

職員の階級別配置状況

平成31年4月1日現在

階級 所属		計	消 防 吏 員						事務職員 (再任用)
			司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	次 長	1		1					
	総 務 課	7		1			1	5	
	予 防 課	1		1					
	警 防 課	1		1					
	通 信 課	0		(1)					
消 防 署	署 長	1		1					
	副 署 長	0		(1)					
	本 署	23			5	3	6	9	
	豆 岐 分 遣 所	8				1	4	3	1
	空 港 分 遣 所	3				1	1	1	3
	美 津 島 出 張 所	9			1	2	2	4	
	中 部 支 署	10		1	2	1	4	2	1
	峰 出 張 所	9			1	1	5	2	
	北 部 支 署	10		1	2	2	1	4	
	上 対 馬 出 張 所	9				2	3	4	1
実 員 合 計		93	1	7	11	13	27	34	6
%		100%	1.1%	6.3%	24.5%	20.2%	18.1%	29.8%	

職員の階級別年齢状況

(平成31年4月1日現在)

階級 年齢	合計	消 防 吏 員						事務職員 (再任用)
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	
18 歳	5						5	
19 //								
20 //	4						4	
21 //	8						8	
22 //	4						4	
23 //	5					1	4	
24 //	4					2	2	
25 //	7					1	6	
26 //	3					3		
27 //	4					3	1	
28 //	6				3	3		
29 //	1					1		
30 //	4				1	3		
31 //	6				4	2		
32 //								
33 //	2					2		
34 //								
35 //								
36 //	1				1			
37 //	3					3		
38 //								
39 //	2			2				
40 //	1					1		
41 //								
42 //	2			2				
43 //	3			1	1	1		
44 //	1			1				
45 //	2			1	1			
46 //	3			2		1		
47 //	1		1					
48 //	1				1			
49 //	1			1				
50 //								
51 //	1			1				
52 //								
53 //								
54 //	2		2					
55 //	2	1	1					
56 //								
57 //	1		1					
58 //	1		1					
59 //	2		1		1			
60 //								3
61 //								3
計	93	1	7	11	13	27	34	6
平均年齢	29.3	55.0	54.9	44.2	36.1	30.6	21.9	61.0

職員の階級別勤続年数状況

(平成31年4月1日)

階級 勤務年数	合 計	消 防 吏 員						事務職員 (再任用)
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	
1年未満	6						6	
1 年	7						7	
2 "	9					1	8	
3 "	12					1	11	
4 "	3					2	1	
5 "	7					6	1	
6 "	3					3		
7 "	1					1		
8 "	3					3		
9 "	4					4		
10 "	5				4	1		
11 "	2				2			
12 "	2				2			
13 "	3				1	2		
14 "								
15 "								
16 "								
17 "								
18 "								
19 "								
20 "	1			1				
21 "	1			1				
22 "								
23 "								
24 "	2			2				
25 "	5			1	3	1		
26 "	3			3				
27 "	1				1			
28 "	2			1		1		
29 "	3		1	2				
30 "								
31 "								
32 "								
33 "								
34 "								
35 "								
36 "	2		2					
37 "	4	1	3					
38 "								
39 "								
40 "								
41 "	2		1		1			
42 "	3							3
43 "	3							3
計	93	1	7	11	14	26	34	6
平均年数	14.5	37.0	36.1	25.3	17.3	8.3	1.9	42.5

職員の研修等の状況

(平成31年4月1日現在)

区分	人員		研 修 人 員														
	種別	年度	49～18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計	
消防大学校	上 級 幹 部 科									1						1	
	幹 部 科		4	1					1					1		7	
	幹 部 研 修 科		3													3	
	予 防 科		3										1			4	
	危 険 物 科		1													1	
	警 防 科		1			1										2	
	救 急 科		1													1	
	救 助 科		1													1	
県消防学校	初 任 科		104	3	5	7	6	6	2	4	9	5	13	8	7	179	
	中 級 幹 部 研 修		1													1	
	初 級 幹 部 科		20					1								21	
	現 任 科		7													7	
	救急Ⅰ課程（旧救急科）		70													70	
	救 急 Ⅱ 課 程		65													65	
	救 急 科		7	3	5	5	6	4	1	4	7	4	13	7	3	69	
	救 命 士 追 加 講 習		4	2	2	2		1	1			3	5	2	2	24	
	予 防	予 防 科	33														33
		査 察 科	7														7
		危 険 物 科	21														21
		原 因 調 査 科	27					1	1		1		1		1		32
	警 防	救 助 科	34							1				1		1	37
		操 法 指 導 員 科	15		2			2		2		2		2		2	27
研 修	救 急 隊 員 研 修		16	1	1	1	1	1	1			1	1	1	1	26	
	指 導 救 命 士										1		1	1		3	
	救急救命九州研修所		19	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	35	
計			464	11	16	17	17	15	10	10	21	15	39	23	18	676	

職員の免許・資格等取得状況

(平成31年4月1日現在)

種別 \ 階級		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	専門員	計
自動車	大型自動車		3	6	5	7	1	3	25
	中型自動車				4	17	5		26
	中型自動車 (8t限定)	1	4	5	4	3		3	20
	準中型自動車								
	準中型自動車 (5t限定)						16		16
	普通自動車						11		11
特殊無線技士	陸 特 1		2						2
	陸 特 2	1	7	11	13	7		3	42
	陸 特 3					19	28		47
	海 特 2							2	2
	アマチュア無線		2	4				2	8
救 急 資 格 者	救 急 科	1	7	7	11	23	23		72
	救 急 救 命 士	1	3	9	6	4	5	4	32
	気 管 挿 管 認 定			5	1	1			7
	薬剤投与認定 (アトレナリン)			9	6	4	5	1	25
	薬剤投与認定 (輸液・ブドウ糖)			7	6	4	5		22
	指 導 救 命 士	1		2					3
	応 急 手 当 指 導 員 講 習	1	7	11	12	23	19	5	78
予 防 技 術 資 格 者	防火査察専門員	1	1	2	1	1			6
	消 防 用 設 備 等 専 門 員	1	2		1				4
	危 険 物 専 門 員		1		2				3
救 助 資 格 者	小 型 移 動 式 ク レ ーン 技 能		1	6	8	11			26
	玉 掛 け 技 能		1	6	8	11			26
	ガ ス 溶 接 技 能		2	1	4	11			18

防 予



少年消防クラブによる、いさり火山笠祭り行進

防火対象物現状表 1 5 0 m²以上

(平成30年12月31日現在)

令別表第一区分			署所別	計	本署	豆 酸 分 遣 所	美 津 島 出 張 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出 張 所
合 計				1,485	565	28	260	186	189	41	216
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場		0							
	ロ	公会堂又は集会場		2				1			1
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ・その他これらに類するもの		0							
	ロ	遊技場又はダンスホール		8	4		2	1			1
	ハ	風俗営業等を営む店舗		0							
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において利用させる業務を営む店舗		1			1				
3	イ	待合・料理店その他これらに類するもの		4	3		1				
	ロ	飲食店		21	10	1	2	4			4
4		百貨店・マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場		42	14		14	3	5	1	5
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所		83	26	1	30	2	7	6	11
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅		180	124		19	9	1	10	17
6	イ	(1)	病院のうち、診療科名中に特定診療科名を有し、かつ、医療法第7条第2項第4号に規定する療養病床または同項第5号に規定する一般病床を有するもの	3			1			1	1
		(2)	診療所のうち、診療科名中に特定診療科名を有し、かつ、4人以上の患者を入院させるための施設を有するもの	2						2	
		(3)	病院（(1)に掲げるものを除く）、有床診療所（(2)に掲げるものを除く）又は有床助産所	3						2	1
		(4)	無床診療所又は無床助産所	9	2		3	1	2		1
6	ロ	(1)	老人短期入所施設・養護老人ホーム・軽費老人ホーム（避難が困難な要介護者を主として入居させるものに限る）等	21	5		5	2	2	3	4
		(2)	救護施設	2					2		
		(3)	乳児院	0							
		(4)	障害児入所施設	0							
		(5)	障害者支援施設（避難が困難な障害者等を主として入所させるものに限る）・短期入所等施設	2				2			
6	ハ	(1)	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム（ロ(1)に掲げるものを除く）・老人介護支援センター	12	2	1	3	1	4		1
		(2)	更生施設	0							
		(3)	助産施設・保育所・児童養護施設・児童自立支援施設等	16	4		3	4	4		1
		(4)	児童発達支援センター・情緒障害児短期治療施設等	0							
		(5)	身体障害者福祉センター・障害者支援施設（ロ(5)に掲げるものを除く）・地域活動支援センター等	5	2		2		1		
ニ		幼稚園又は特別支援学校	2	1		1					
7		小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・大学・専修学校・各種学校・その他これらに類するもの		80	22	4	10	18	17		9
8				2	1			1			
9	イ	図書館・博物館・美術館その他これらに類するもの		2			1		1		
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場		2			1				1
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場		9	1	3	2				3
11		神社・寺院・教会その他これらに類するもの		42	22	2	1	8	3	3	3
12	イ	工場又は作業場		136	38		31	15	22	11	19
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		1			1				
13	イ	自動車庫又は駐車場		21	10		3	1	2	2	3
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		0							
14		倉庫		96	29		11	11	21		24
15		前各項に該当しない事業場		299	77	12	55	61	57		37
16	イ	(1)～(4)・(5)イ・(6)・(9)イが存する複合用途防火対象物		224	88	4	31	32	27		42
	ロ	上記イに掲げる以外の複合用途防火対象物		153	80		26	9	11		27
17		重要文化財		0							

防火対象物査察状況

(平成30年中)

区分 \ 署所別		計	本署	豆 酸 分 遣 所	美 津 島 出張 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出張 所
査 察 件 数		322	55	22	47	61	67	23	47
指導内容	計	284	102	1	51	52	22	17	39
	消 火 設 備	11	5		2	3			1
	警 報 設 備	24	8		3	7	6		
	避 難 設 備	23	5		5	1	4	4	4
	消防用設備等の点検報告	75	20	1	9	15	8	12	10
	防 火 管 理 者 選 任	15	6		2	3	1		3
	消 防 計 画	16	7		6	2			1
	避 難 訓 練	42	12		12	10	1		7
	防 炎 物 品	24	7			7	2	1	7
	建 築 構 造 ・ 管 理	2	1		1				
	火 気 使 用 設 備 器 具								
	電 気 設 備								
	危 険 物								
	そ の 他	52	31		11	4			6

火 災 予 防 指 導 等

(平成30年中)

区分 月別	計	消 火 実 験 及 び 指 導	防 火 講 話	避 難 訓 練 指 導	救 急 法 指 導	一 般 家 庭 防 火 指 導	消 防 広 報	消 防 団 指 導	普 通 救 命 講 習
合計	1,876	151	94	169	24	1,125	105	191	17
1 月	17	5	4	7	1				
2 月	47	14	13	16	2				2
3 月	326	10	4	13	1	277		19	2
4 月	68	5	4	5				54	
5 月	113	10	6	14	1			81	1
6 月	107	29	22	34	4			18	
7 月	36	3	1	3	9	2		15	3
8 月	9	2		2	1			1	3
9 月	25	9	6	9	1				
1 0 月	35	11	8	11	2			1	2
1 1 月	545	26	15	28	2	365	105	2	2
1 2 月	548	27	11	27		481			2

消防用設備等着工届出等

(平成30年中)

消防用設備等		区分	着工届	設置届	検査済	点検報告
消 火 設 備	消 火 器 具			25	18	101
	屋 内 消 火 栓 設 備		2	1	0	13
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備		1	1	0	1
	ス プ リ ン ク ラ ー 消 火 設 備			1	1	6
	特定施設水道連結型スプリンクラー設備				0	1
	泡 消 火 設 備				0	1
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備				0	
	バ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備				0	2
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備			1	0	
	粉 末 消 火 設 備				0	5
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備		19	27	20	78
	特定小規模施設用自動火災報知設備		21	22	23	4
	住 戸 用 自 動 火 災 報 知 設 備				0	
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備				0	1
	漏 電 火 災 警 報 器				0	
	非 常 警 報 設 備			2	2	8
	共 同 住 宅 用 非 常 警 報 設 備				0	
	非 常 放 送 設 備		1	3	2	9
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備		5	7	7	15
避 難 設 備	避 難 器 具		1	2	1	17
	誘 導 灯			33	29	73
排 煙 設 備					0	
連 結 送 水 管					0	1
非 常 電 源					0	10
非 常 電 源 専 用 受 電 設 備					0	3
自 家 発 電 蓄 電 池 設 備					0	4
計			50	125	103	353

火災予防条例等による届出等

(平成30年中)

区 分 \ 署所別	計	本 署	豆 酸 分 遣 所	美 津 島 出張 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出張 所
計	862	221	14	218	109	112	64	124
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	57	13		26	3	3	3	9
ボ イ ラ ー 設 置 届	2					2		
変 電 設 備 設 置 届								
発 電 設 備 設 置 届	2			2				
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届								
乾 燥 設 備 設 置 届	4							4
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生 するおそれのある行為の届	49	3		7	10	9	11	9
煙火の打ち上げ又は仕掛け届	3	1		1				1
催 物 開 催 届	22	3	1	9	4	1	2	2
露 店 等 の 開 設 届 出 書	131	56	1	41	15			18
水 道 断 減 水 届								
道 路 工 事 届	11	2		1	2	5	1	
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 い 届	8	2			4			2
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 い 廃 止 届	4					2		2
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	145	34	1	41	12	16	13	28
防 火 管 理 者 選 (解) 任 届	92	23		23	8	11	12	15
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス 貯 蔵 取 扱 い の 開 始 届	3	1		2				
毒 物 劇 物 貯 蔵 取 扱 い の 開 始 届								
水素ガスを充てんする気球の設置届								
消 防 訓 練 計 画 書 届	322	77	11	65	51	63	21	34
蓄 電 池 設 備 設 置 届	6	6						
サ ウ ナ 設 備 設 置 届								
指 定 可 燃 物 取 扱 い 届								
消防用設備等の基準の特例適用申請書								
炉 設 置 届 出 書	1						1	
防火管理者資格取得講習終了証 再 交 付 申 請								

消防法第7条に基づく同意

(イ) 構造別・工事別

(平成30年中)

工事別 構造別		合計	新築	増築	改築	模様替	用途変更	その他
合計	件数	23	18	1			4	
	棟数	32	26	1			5	
	延面積	20,631.13	19,179.19	44.50			1,407.44	
木造	件数	5	2	1			2	
	棟数	5	2	1			2	
	延面積	739.11	191.12	44.50			503.49	
鉄骨造	件数	11	11					
	棟数	16	16					
	延面積	15,590.28	15,590.28					
鉄筋コンクリート造	件数	5	3				2	
	棟数	8	5				3	
	延面積	1,366.66	462.98				903.68	
コンクリートブロック造	件数	1	1					
	棟数	1	1					
	延面積	12.34	12.34					
鉄骨・鉄筋コンクリート造	件数	1	1					
	棟数	4	4					
	延面積	3,310.66	3,310.66					
その他	件数	0						
	棟数	0						
	延面積	0.00						

(ロ) 用途別

(平成30年中)

区分		件数	棟数	延面積	区分		件数	棟数	延面積
1	イ				10				
	ロ				11				
2	イ				12	イ	2	2	1,138.00
	ロ					ロ			
	ハ				13	イ	1	2	193.99
	ニ					ロ			
3	イ	1	1	356.49	14				
	ロ				15		3	7	3,579.65
4		3	3	3,896.13	16	イ	3	4	6,964.97
5	イ	2	2	1,064.45		ロ	1	1	303.14
	ロ	3	9	3,420.15	16の2				
6	イ(4)				17				
	ロ				18				
	ハ(1)				専用住宅				
	ニ				その他				
7									
8									
9	イ				計		19		20,916.97
	ロ								

(ハ) 消防用設備等別

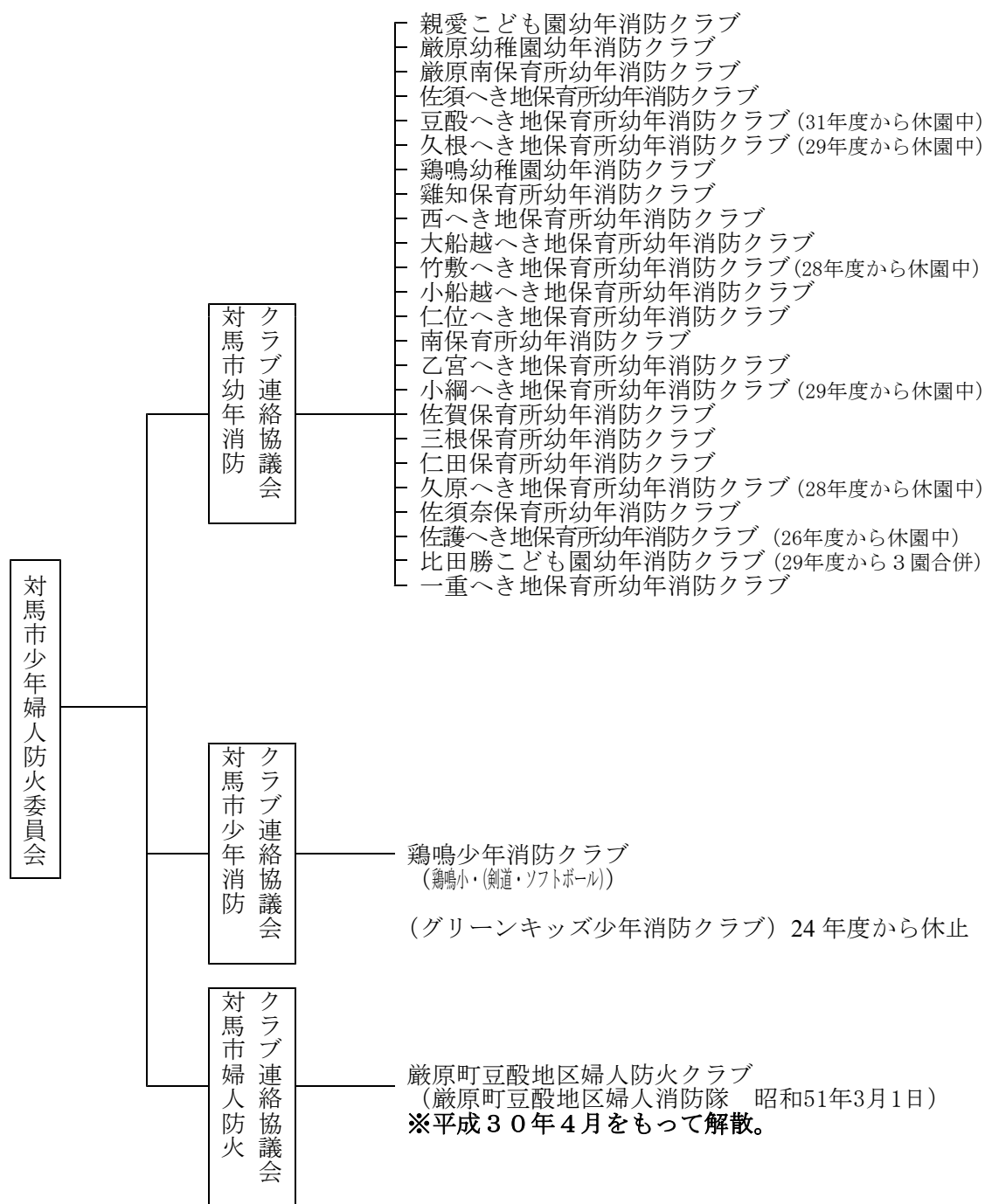
(平成30年中)

計	スプリンクラー	消火器	屋内消火栓	自動火災報知設備	消防機関へ通報する火災報知設備	非常警報設備	特定小規模用自動火災報知設備	誘導灯	誘導標識
	1	17	1	7	2	4	1	11	6

対馬市少年婦人防火委員会組織図

平成31年4月1日現在

(昭和61年12月10日設立)



平成31年4月1日現在

クラブ	クラブ数	クラブ員 (人)
幼年消防クラブ	18	1,008
少年消防クラブ	1	33
婦人防火クラブ (消防隊)	0 (0)	0 (0)
合 計	19 (0)	1,041 (0)

() は婦人消防隊

危 険 物

(イ) 署所別施設一覧表

平成30年12月31日

署所別 区分		計	本 署	美 津 島 出張所	豆 酸 分 遣 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出張所
合 計		358	69	88	19	66	51	24	41
貯 蔵 所	小 計	223	45	56	9	37	29	14	33
	屋 内 貯 蔵 所	21	3	4		8		1	5
	屋外タンク貯蔵所	104	15	26	6	21	15	8	13
	屋内タンク貯蔵所	4	2	1			1		
	地下タンク貯蔵所	23	11	5	1		2	1	3
	簡易タンク貯蔵所	4					2	1	1
	移動タンク貯蔵所	54	12	19		4	5	3	11
	屋 外 貯 蔵 所	13	2	1	2	4	4		
取 扱 所	小 計	135	24	32	10	29	22	10	8
	給 油 取 扱 所	89	18	16	8	17	18	6	6
	販 売 取 扱 所	2		1		1			
	移 送 取 扱 所	1				1			
	一 般 取 扱 所	43	6	15	2	10	4	4	2

平成30年12月31日現在

45

(ハ) 署所別・容量別・屋外タンク貯蔵所

平成30年12月31日現在

区分 \ 署所別			計	本署	美津島出張所	豆酸分遣所	中部支署	峰出張所	北部支署	上対馬出張所
50 kℓ未満			53	8	10	4	8	10	6	7
50 kℓ以上～100 kℓ未満			10		1	2	5	2		
100～300			18	2	1		6	3		6
300～500			6		5				1	
500～1,000			15	5	9				1	
1,000～2,000			0							
2,000～3,000			2				2			
計			104	15	26	6	21	15	8	13
内訳	ガソリン 7 基	灯油 3 基	軽油 9 基		重油 7 9 基		その他 6 基			

(二) 危険物施設許可等

平成30年中

区分 署所別	計	設 置		変 更		廃 止	許 可 取 消	タンクの検査	仮 使用 承 認	仮 貯 取
		許 可	完 成 検 査	許 可	完 成 検 査					蔵 扱
										承 認
計	45	7	9	9	7	5	0	0	7	1
本 署	9	1	1	2	1	1			2	1
美 津 島 出 張 所	14	3	4	2	2	2			1	
豆 酸 分 遣 所	1					1				
中 部 支 署	9	1	1	3	2				2	
峰 出 張 所	1					1				
北 部 支 署	6			2	2				2	
上 対 馬 出 張 所	5	2	3							

危険物施設査察状況

(平成30年中)

署所別 施設別	本 署	美 津 島 出張 所	豆 碓 分 遣 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出張 所	合 計
査 察 件 数	55	56	19	62	45	24	33	294
屋 内 貯 蔵 所	3	3	1	6		1	4	18
屋外タンク貯蔵所	13	15	6	20	14	8	13	89
屋内タンク貯蔵所	2	1			1			4
地下タンク貯蔵所	9	5			1	1	2	18
簡易タンク貯蔵所					2	1	1	4
移動タンク貯蔵所	8	7		4	5	3	7	34
屋 外 貯 蔵 所	1	1	2	2	3			9
給 油 取 扱 所	14	13	8	18	15	6	5	79
販 売 取 扱 所		1		1				2
移 送 取 扱 所				1				1
一 般 取 扱 所	5	10	2	10	4	4	1	36

防 警



屋内侵入訓練

消 防 力 の 状 況

(イ) 消防本部・消防署

平成31年4月1日現在

区分 署所	職員数	ポンプ車 (軽積載車含)	タンク車	化学車	救急車	指揮車 広報車	救助工作車	その他
計	99	8	1	5	9	7	2	5
消 防 本 部	18					1		3
本 署	23	2	1	1	2	1	1	2
美津島出張所	9	1			1	1		
豆 敷 分 遣 所	8	1			1			
空 港 分 遣 所	3			2				
中 部 支 署	10	1		1	1	1		
峰 出 張 所	9	1			1	1		
北 部 支 署	10	1		1	2	1	1	
上対馬出張所	9	1			1	1		

(ロ) 消防団

平成31年4月1日現在

区分 町別	分団数	団員数		ポンプ車	小型動力 付積載車	小型動力 のみ	広報車
		定員	実員				
計	52	1,600	1,475	19	113		6
消 防 団 本 部		8	8				
厳 原	11	369	310	9	14		1
美 津 島	10	341	316	1	28		1
豊 玉	6	289	273	1	28		1
峰	4	145	173	3	13		1
上 県	9	190	159	3	15		1
上 対 馬	12	258	236	2	15		1

(ハ) 消防水利・市街地等

(平成31年4月1日現在)

区分 署所別	計	消火栓		防 火 水 槽				井 戸	そ の 他	10,000人 以上の 市街地	10,000人 未満 1,000人 以上の 準市街地	1,000人 未満の その他 の地域
		公 設	私 設	100m ³ 以上	40～100m ³ 未 満	20～40m ³ 未 満	私 設					
計	1,580	1,203	2	3	363	3	3	3			5	120
本 署	223	162			61						1	9
豆 酸 分 遣 所	99	78			21							9
美津島出張所	239	183	2		52	1	1				1	17
中 部 支 署	296	228			68						1	37
峰 出 張 所	353	267			86						1	20
北 部 支 署	178	137			41							13
上対馬出張所	192	148		3	34	2	2	3			1	15

(二) 署所別消防車両等

(平成31年4月1日現在)

署 所	型 式	登録番号	ポンプ	種 別	車 名	登録年月日	備 考
本 部	事 務 連 絡 車	527 さ 5547			ト ヨ タ	28. 7. 26	
	事 務 連 絡 車	527 さ 2178			ト ヨ タ	28. 12. 20	
	防 災 広 報 車	327 さ 2614			ス バ ル	18. 2. 20	日本消防協会寄贈
	救 急 普 及 車 啓 発 広 報 車	827 さ 801			ニ ッ サ ン	25. 11. 27	一般財団法人 救急振興財団寄贈
本 署	ポ ン プ 車 C D I 型	827 さ 76	日本エレファント	A-2	い す ゞ	12. 2. 28	
	タ ン ク 車	827 さ 505	森 田	A-1	日 野	18. 2. 28	
	救 急 車 (高規格車)	827 さ 864			ト ヨ タ	27. 3. 17	
	予 備 救 急 車 (高規格車)	88 た 1346			ト ヨ タ	11. 1. 8	
	指 揮 車	827 さ 741			ト ヨ タ	23. 12. 26	
	化 学 車 II 型	830 に 119	森 田	A-2	日 野	27. 2. 16	
	ブーム車 (TVF) CD-II 型	830 す 2119	森 田	A-2	日 野	31. 2. 20	
	救助工作車 II 型	827 は 94			日 野	22. 11. 24	
	先 行 消 火 車	880 た 127	トーハツ	B-2	ダイハツ	26. 12. 22	
	資 器 材 搬 送 車	880 も 63			ス ズ キ	23. 2. 22	
美津島出張所	ポ ン プ 車 C D I 型	827 さ 341	森 田	A-2	い す ゞ	15. 11. 25	
	救 急 車 (高規格車)	827 さ 936			ト ヨ タ	29. 3. 16	
	広 報 車	880 も 68			ス ズ キ	23. 3. 24	
豆殿分遣所	先 行 消 火 車	880 も 117	トーハツ	B-2	ダイハツ	25. 12. 13	
	救 急 車	827 さ 814			ト ヨ タ	26. 3. 6	
空港分遣所	化 学 車 MAF125A	827 は 43	森 田	A-1	ソーシン	13. 9. 5	長崎県所有 (委託)
	化 学 車	827 さ 819	森 田	A-2	三 菱	13. 3. 1	長崎県所有 (委託)
中部支署	ポ ン プ 車 C D I 型	827 さ 158	森 田	A-2	日 野	13. 3. 6	
	救 急 車 (高規格車)	827 さ 587			ニ ッ サ ン	19. 11. 14	
	広 報 車	88 ち 405			ニ ッ サ ン	11. 2. 25	
	化 学 車 II 型	88 た 1069	森 田	A-2	日 野	6. 11. 28	
峰出張所	ポ ン プ 車 C D I 型	827 さ 340	森 田	A-2	い す ゞ	15. 11. 25	
	救 急 車 (高規格車)	827 さ 286			ニ ッ サ ン	15. 1. 27	
	広 報 車	880 も 67			ス ズ キ	23. 3. 24	
北部支署	ポ ン プ 車 C D I 型	827 さ 157	森 田	A-2	日 野	13. 3. 6	
	救 急 車 (高規格車)	827 さ 441			ト ヨ タ	17. 3. 4	
	予 備 救 急 車 (高規格車)	827 さ 217			ト ヨ タ	14. 2. 25	
	救 助 工 作 車	88 た 939			日 野	4. 10. 22	
	化 学 車 II 型	88 た 1138	森 田	A-2	日 野	7. 12. 14	
	広 報 車	827 た 980			ト ヨ タ	30. 3. 20	
上対馬出張所	ポ ン プ 車 C D I 型	827 さ 295	森 田	A-2	い す ゞ	15. 3. 12	
	救 急 車 2 B 型	827 さ 235			ト ヨ タ	14. 3. 28	山之内製薬 (株) 寄贈
	広 報 車	827 さ 30			ニ ッ サ ン	11. 9. 27	

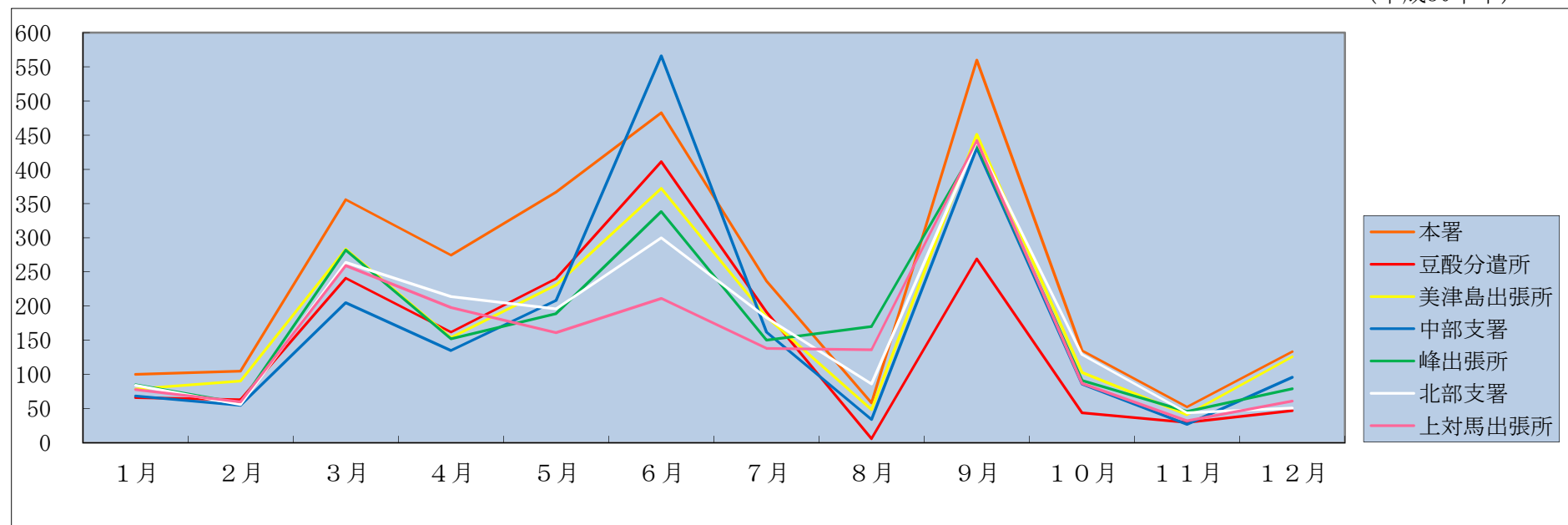
独居老人・寝たきり老人訪問指導

(平成30年中)

区分		署所別	計	本署	豆 酸 分 遣 所	美 津 島 出張 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出張 所
計	男		27	6	3	4	4	6	1	3
	女		138	22	35	3	28	30	6	14
	計		165	28	38	7	32	36	7	17
独居老人	男		27	6	3	4	4	6	1	3
	女		138	22	35	3	28	30	6	14
	計		165	28	38	7	32	36	7	17
寝たきり老人	男									
	女									
	計									

署 所 別 降 雨 量

(平成30年中)



署 所 \ 月	合計	平均	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月
本 署	2, 859. 5	238. 3	100. 0	105. 0	355. 5	274. 5	366. 5	482. 5	236. 5	58. 5	559. 5	135. 0	52. 5	133. 5
豆 酩 分 遣 所	1, 770. 0	147. 5	66. 0	63. 0	241. 0	162. 0	240. 0	411. 0	191. 0	6. 0	269. 0	44. 0	30. 0	47. 0
美津島出張所	2, 162. 0	180. 2	78. 5	90. 5	283. 5	153. 5	230. 5	372. 0	184. 0	48. 5	451. 0	103. 0	41. 0	126. 0
中 部 支 署	2, 073. 5	172. 8	68. 5	55. 0	205. 0	135. 0	208. 0	566. 0	162. 0	34. 0	431. 0	86. 0	27. 0	96. 0
峰 出 張 所	2, 076. 0	173. 0	85. 0	58. 0	282. 0	152. 0	189. 0	338. 0	150. 0	170. 0	436. 0	91. 0	46. 0	79. 0
北 部 支 署	2, 048. 0	170. 7	84. 0	56. 0	264. 0	214. 0	196. 0	300. 0	183. 0	86. 0	441. 0	129. 0	44. 0	51. 0
上対馬出張所	1, 863. 0	155. 3	78. 0	60. 0	259. 0	198. 0	161. 0	211. 0	138. 0	136. 0	442. 0	87. 0	32. 0	61. 0

通 信



通信指令台システム

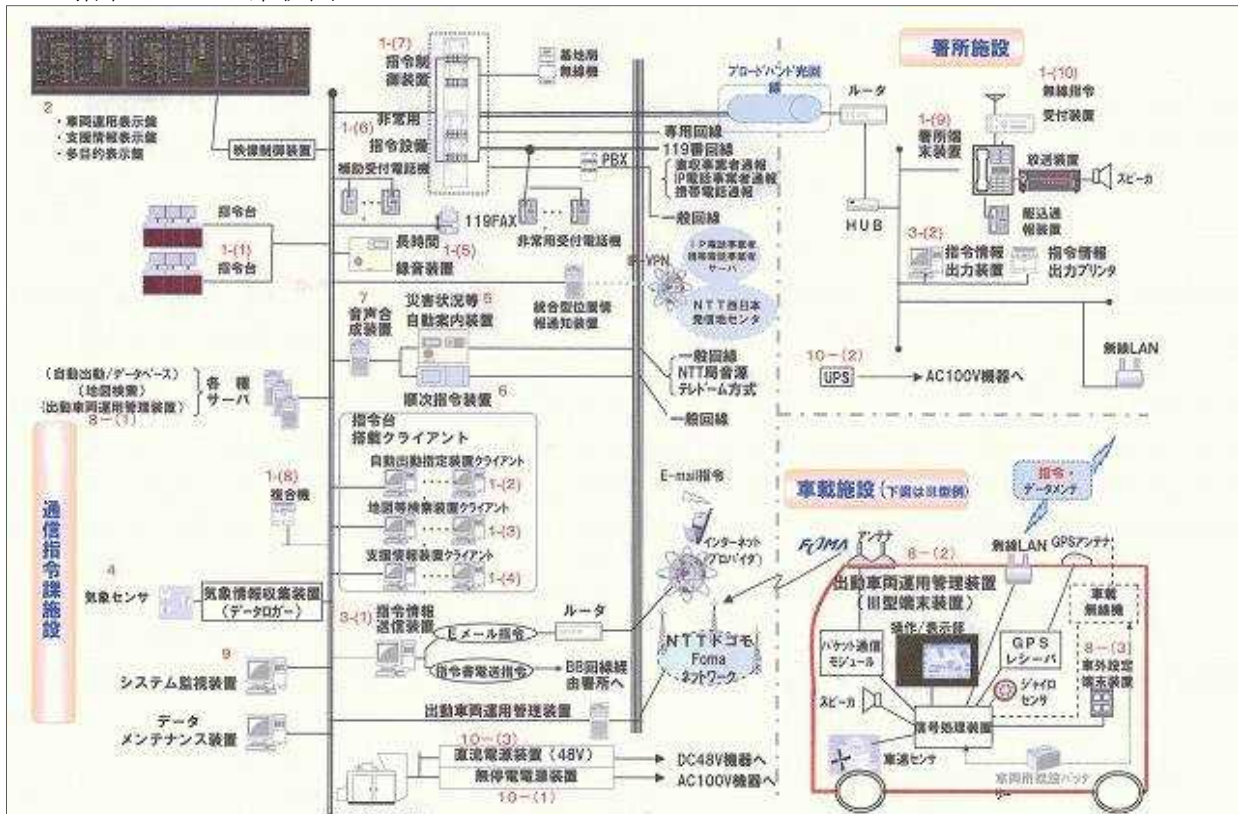
1. 高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線システムの概要

当本部では平成24年度より260MHz帯デジタル無線方式による消防救急無線の整備を実施し、平成26年度の運用開始訓練を経て平成27年3月20日より運用を開始した。また、運用開始から17年が経過した消防指令センターを高機能消防指令センターに更新することにより、火災・救急・救助等の災害種別や規模に応じた部隊編成を迅速かつ的確に編成し出場させ、市民の安心・安全に寄与する役割を担っている。

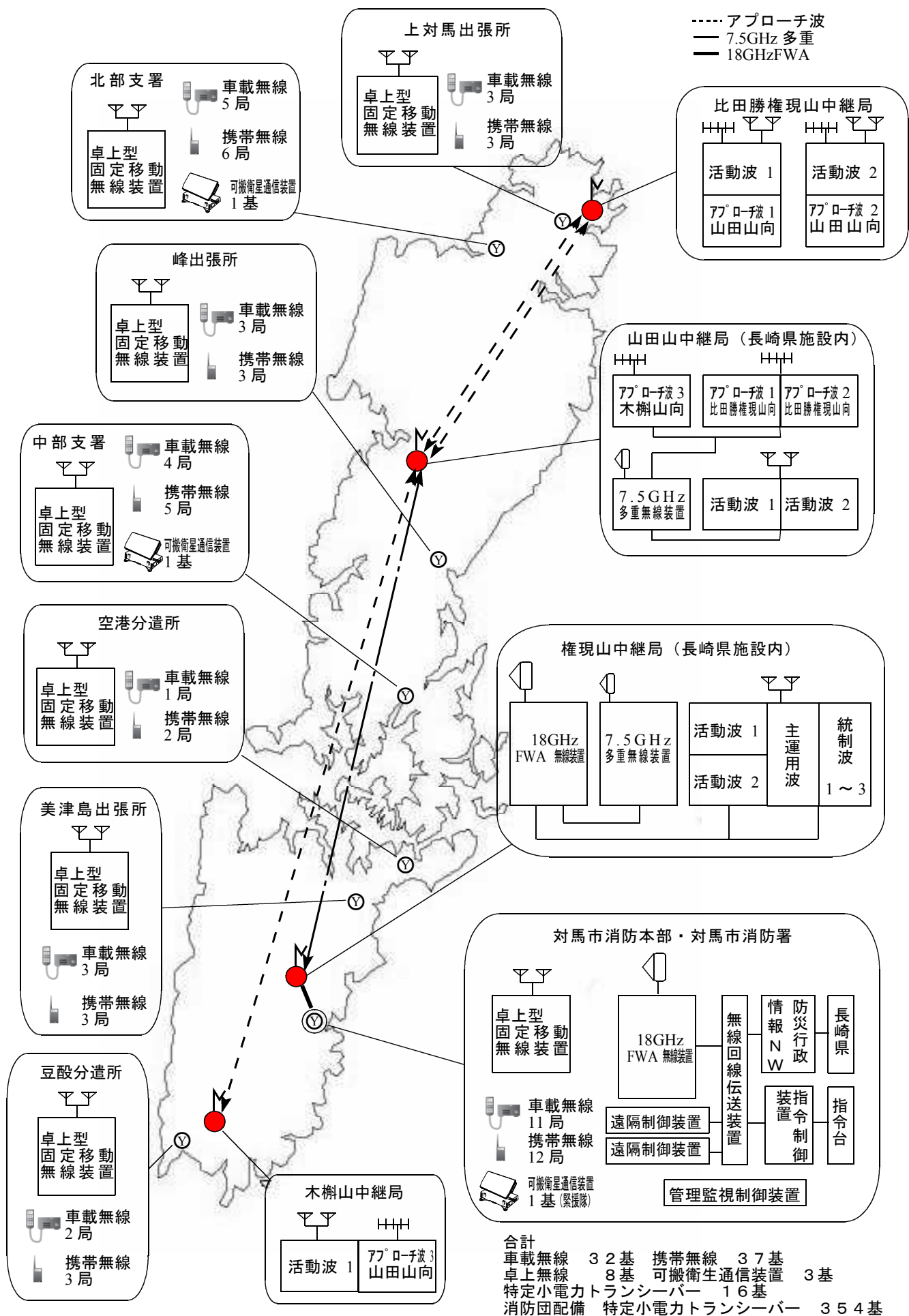
2. 指令装置



3. 指令システム系統図



4. 消防無線設置状況図

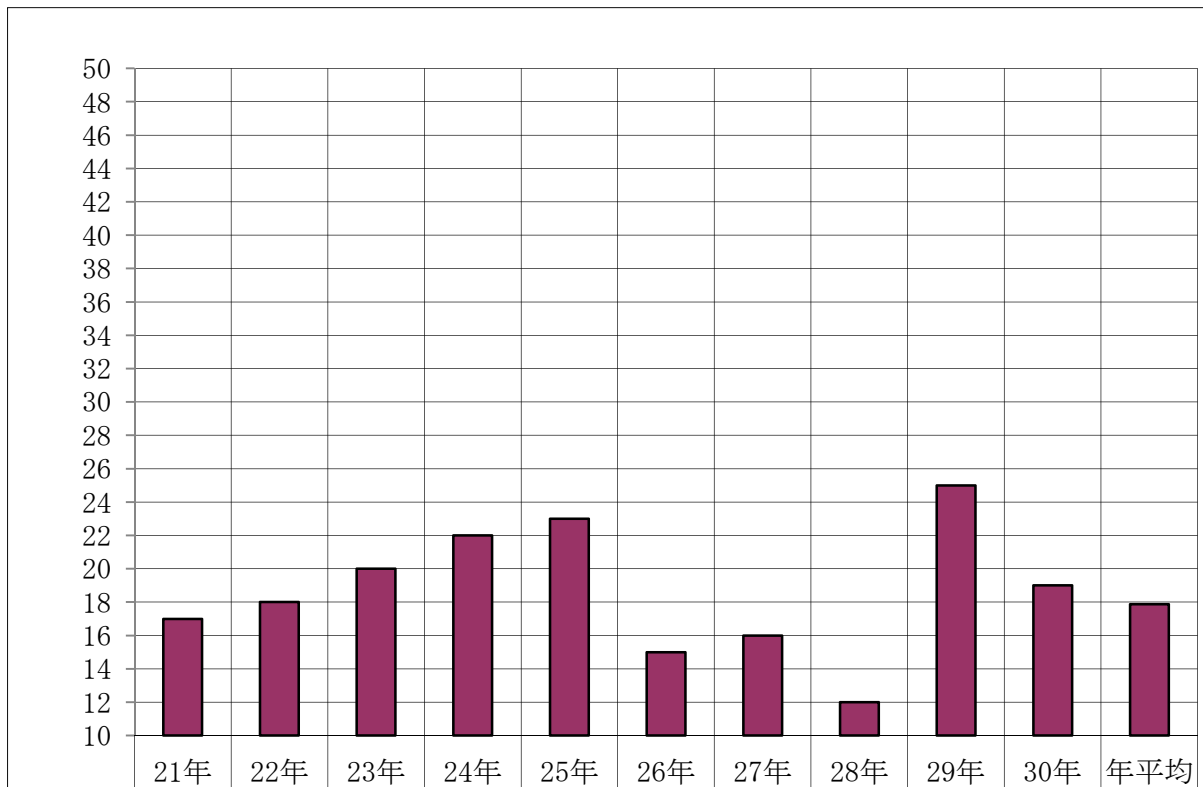


火 災



火災現場写真

過去10年間の火災発生状況



過去5年間の火災損害額状況

(単位：千円)

種別 \ 年別	26年	27年	28年	29年	30年	年平均
建物	17,339	11,829	22,893	51,579	4,688	21,666
林野	0	23	0	0	8	6
その他	188	276	1,202	15,607	1	3,455
計	17,527	12,128	24,095	67,186	4,697	25,127

過去10年間の火災発生状況

年 署所	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	年平均
本 署	5	5	7	8	8	2	2	3	4	4	5
豆 酸						1	1	2	1	2	1
美 津 島	5	2	2	3	4	5	5	3	5	2	4
豊 玉	1	5	4	4	3	4	2	1	8	8	4
峰	4	2	6	5	3	1	0	2	4	3	3
上 県	0	2	0	1	2	1	1	1	1	0	1
上 対 馬	2	3	1	1	3	1	5	0	2	0	2
計	17	19	20	22	23	15	16	12	25	19	18

過去10年間の署所別火災損害額状況

(単位：千円)

年 署所	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	年平均
本 署	2,587	15,215	609	18,423	20,369	3	3,806	2,678	17,377	0	8,107
豆 酸						0	2,723	2,966	0	1,711	1,480
美 津 島	1,109	3	129	3,065	52	8,195	4,760	5,010	10,003	8	3,233
中 部	0	448	63	11,072	72	793	671	0	24,372	2,699	4,019
峰	565	387	14,730	6,490	383	0	0	12,948	14,857	279	5,064
上 県	0	130	0	14,205	2,190	88	0	493	541	0	1,765
上 対 馬	835	4,688	0	0	20	8,448	168	0	36	0	1,420
計	5,096	20,871	15,531	53,255	23,086	17,527	12,128	24,095	67,186	4,697	24,347

火 災 種 別 一 覧 表

(平成30年中)

月 別	件 数	火 災 種 別																			損 害 額 合 計 (千円)							
		建 物 火 災 用 途 別 内 訳																林野				車両		船舶		その他		
		件 数	専 用 住 宅	共 同 住 宅	遊 技 場	飲 食 店	店 舗	工 場	駐 車 場	複 合 用 途 ・ 非 特 定	複 合 用 途 ・ 特 定	そ の 他	焼 損 面 積 (㎡)	焼 損 棟 数	り 災 世 帯	り 災 人 員	負 傷 者	死 者	損 害 額 (千円)	件 数		焼 損 面 積 (a)	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数	損 害 額 (千円)	件 数
計	19	7	3								4	368	9	3	7	2		4,688	1	7	8	1	1			10		4,697
1	1	1	1										1	1	3													
2	3																									3		
3	3	1									1	62	1					218								2		218
4	1																									1		
5																												
6	1	1									1	36	1					61										61
7																												
8	4																		1	7	8					3		8
9	2	2	2									228	4	2	4	1		4,242										4,242
10	1																									1		
11	2	2									2	42	2			1		167										167
12	1																					1	1					1

覚知別火災発生状況

(平成30年中)

覚知別 区分			合 計	119	加入電話	警察電話	駆け付け	事後聞知	そ の 他
火災 件数	合 計		19	15	1			2	1
	内 訳	建 物	7	6				1	
		林 野	1	1					
		そ の 他	11	8	1			1	1
焼損 棟数	全 焼		5	4				1	
	半 焼								
	部 分 焼		4	4					
	ぼ や		1	1					
り災 世帯	全 損		2	2					
	半 損								
	小 損		1	1					
焼損 面積	建 物 （ ㎡ ）		368	306				62	
	林 野 （ a ）		7	7					
り 災 人 員			7	7					
死傷 者	死 者								
	負 傷 者								
損 害 額 （ 千 円 ）			4,697	4,479				218	
火災1件当たりの 平均損害額(千円)			247	299				109	

町別火災発生状況

(平成30年中)

区分 町別			合計	対馬市					
				厳原町	美津島町	豊玉町	峰町	上県町	上対馬町
火災 件数	合計		19	6	5	5	3		
	内訳	建物	7	2	1	2	2		
		林野	1		1				
		その他	11	4	3	3	1		
焼損 棟数	全焼		5	1	1	1	2		
	半焼								
	部分焼		4	1		3			
	ぼや		1	1					
り災 世帯	全損		2	1		1			
	半損								
	小損		1	1					
焼損 面積	建物（㎡）		368	114	26	130	98		
	林野（a）		7		7				
り災人員			7	6		1			
死傷 者	死者								
	負傷者		2		1	1			
損害額（千円）			4,697	1,711	119	2,588	279		
火災1件当たりの 平均損害額（千円）			247	285	24	518	93		

気象別火災発生状況

(平成30年中)

種別 区分		合 計	火災件数				焼損棟数				損 害 額	損害 額百 万円 以上 の火 災件 数
			建物火災		林	そ の 他	全	半	部 分	ぼ や		
			延 焼	非 延 焼								
合 計		19	2	5	1	11	5		4	1	4,697	2
風 速	静 穏	10	1	4		5	4		3		2,158	1
	2.0m以上～3.0m未満	7	1	1		5	1		1	1	2,531	1
	3.0m以上～5.0m未満	2			1	1					8	
	5.0m以上～7.0m未満											
	7.0m以上～10.0m未満											
	10.0m以上											
相 対 湿 度	40%未満											
	40 % 以上～50% 未満	1				1						
	50 % 以上～60% 未満	3		1		2			1	1	1	
	60 % 以上～70% 未満	4	1			3	1		1		2,531	
	70 % 以上～80% 未満	4		1	1	2	1				119	
	80 % 以上～90% 未満	3		1		2			1		56	
	90%以上	4	1	2		1	3		1		1,990	
天 候	快 晴	3	1	2			2		1		2,698	
	晴	10			1	9			1		1,720	
	く も り	6	1	3		2	3		2	1	279	
	雨											
	そ の 他											

月別・曜日別・時間別火災発生状況

(平成30年中)

時間別	計	月 別												曜 日 別						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	日	月	火	水	木	金	土
計	19	1	3	3	1		1		4	2	1	2	1	4	3	2	3	3		4
6～7																				
7～8	1	1																1		
8～9	1												1							1
9～10																				
10～11	2			1	1									1	1					
11～12	3		2	1											1		1			1
12～13																				
13～14																				
14～15	1		1												1					
15～16	3								2	1						2	1			
16～17	2								1		1			2						
17～18	2									1		1					1	1		
18～19																				
19～20	1								1											1
20～21	1											1								1
21～22																				
22～23																				
23～24																				
0～1	1						1											1		
1～2																				
2～3																				
3～4	1			1										1						
4～5																				
5～6																				
不明																				

原因別火災発生状況

(平成30年中)

原因別 区分			合 計	た き 火	コ ン ロ	風 呂 か ま ど	ス ト ー ブ	た ば こ	火 遊 び	放 火	灯 火	電 灯 等 の 配 線	不 明	そ の 他	
火 災 件 数	合 計		19	1		1		4				1	2	10	
	内 訳	建 物	7	1		1						1	2	2	
		林 野	1					1							
		そ の 他	11					3							8
焼 損 棟 数	全 焼		5	1		1							2	1	
	半 焼														
	部 分 焼		4			1							1	2	
	ぼ や		1									1			
焼 損 面 積	建 物 （ m ² ）		225	26		114							52	33	
	林 野 （ a ）		7					7.0							
死 傷 者	死 者														
	負 傷 者		2	1		1									
損 害 額 （ 千 円 ）			4,697	111		2,531		8					1,929	118	

主 要 火 災

(平成30年中)

発生場所 区分		峰町	巖原町	豊玉町
火 災 種 別		建物火災	建物火災	建物火災
発 生 年 月 日		3月4日	9月19日	9月26日
出 火 時 分		3時00分	15時38分	17時20分
覚 知 時 分		14時45分	15時48分	17時24分
鎮 火 時 分		不明	16時40分	18時09分
覚 知 別		事後聞知	119	119
出 火 原 因		不明	不明	風呂かまど
気 象 状 況	天 気	曇り	曇り	快晴
	風 向	北西	南南西	北
	風 速 (m/s)	0.5	0.8	2.5
	相 対 湿 度 (%)	96.1	73.6	65.8
焼 損 棟 数	全 焼	1	1	1
	半 焼			
	部 分 焼		1	1
	ぼ や			
焼損面積 (㎡・a)		61.92	118.26	122.7
り 災 世 帯	全 損		1	1
	半 損			
	小 損			
り 災 人 員			3	1
死 傷 者	死 者			
	負 傷 者			1
損害額 (千円)		218	1,711	2,531

救 急



救急の日行事「1日救急隊長」

救急一目統計

(平成30年中)

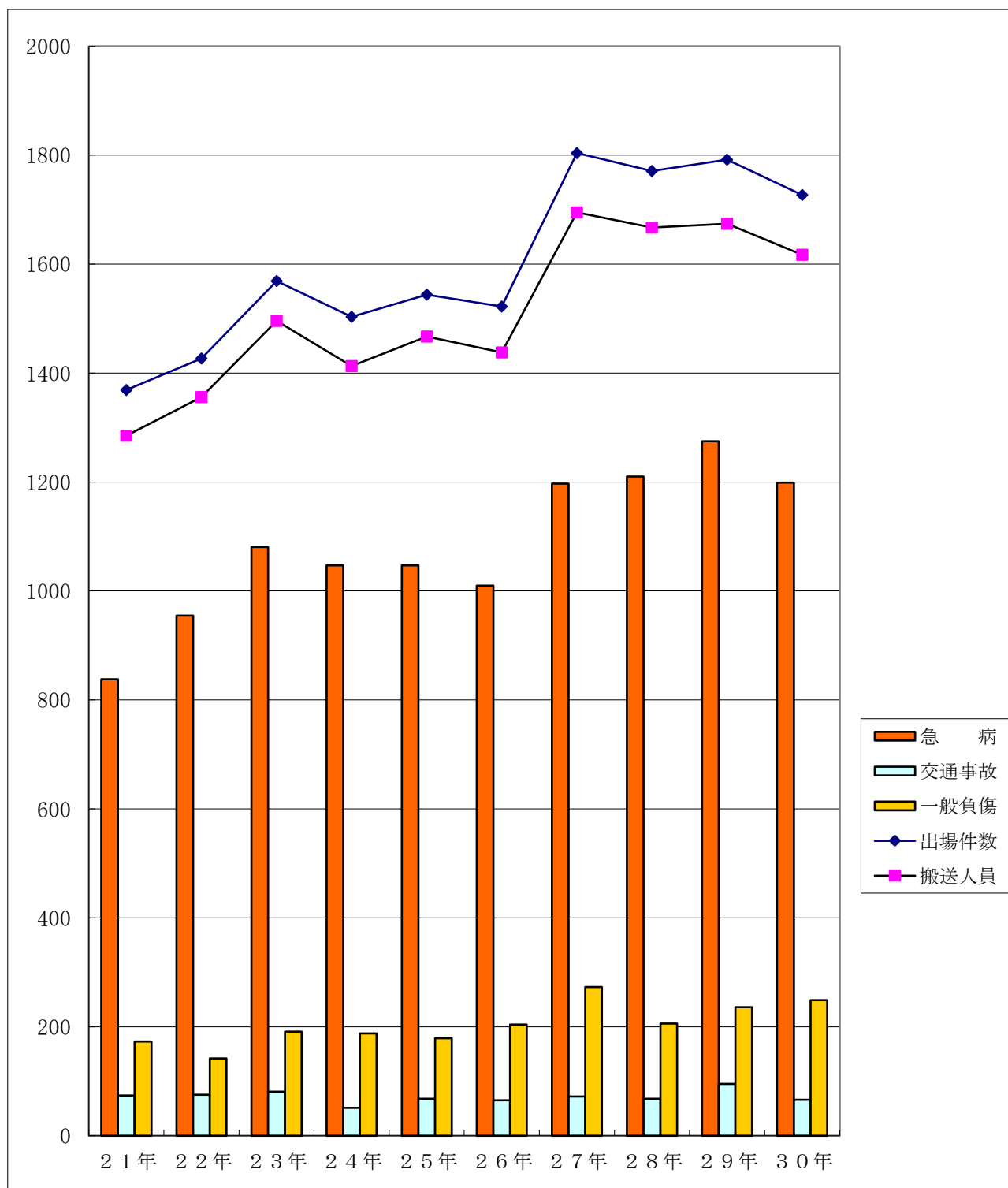
+ 救急病院 ◇長崎県対馬病院 ◇長崎県上対馬病院		高規格救急車 6台	標準救急車3台
---	--	-----------	---------

○出場 件数	1,727 件	○搬送人員	1,617 人
○搬送 件数	1,641 件	○不 搬 送	86 件
* 高規格救急車（本署、美津島、中部支署、峰、北部支署に配備）の出場件数		1,324 件	
* 高規格救急車による搬送人員		1,232 人	
* 特定行為の実施件数		34 件	

出場件数 1727件			
急病	交通事故	一般負傷	その他
1,199件	66件	249件	213件
69.4%	3.8%	14.4%	12.3%
○救急出場の多かった		○1回の出場で	
・ 月は 7 月	180 件	・ 最長所要時間は 上対馬出張所	5時間26分
・ 曜日は 月曜 日	275 件	・ 最長走行距離は	99.6 km
・ 時分は8～10分	268 件	・ 最多患者搬送は	5 人
・ 町は 厳原 町	589 件		

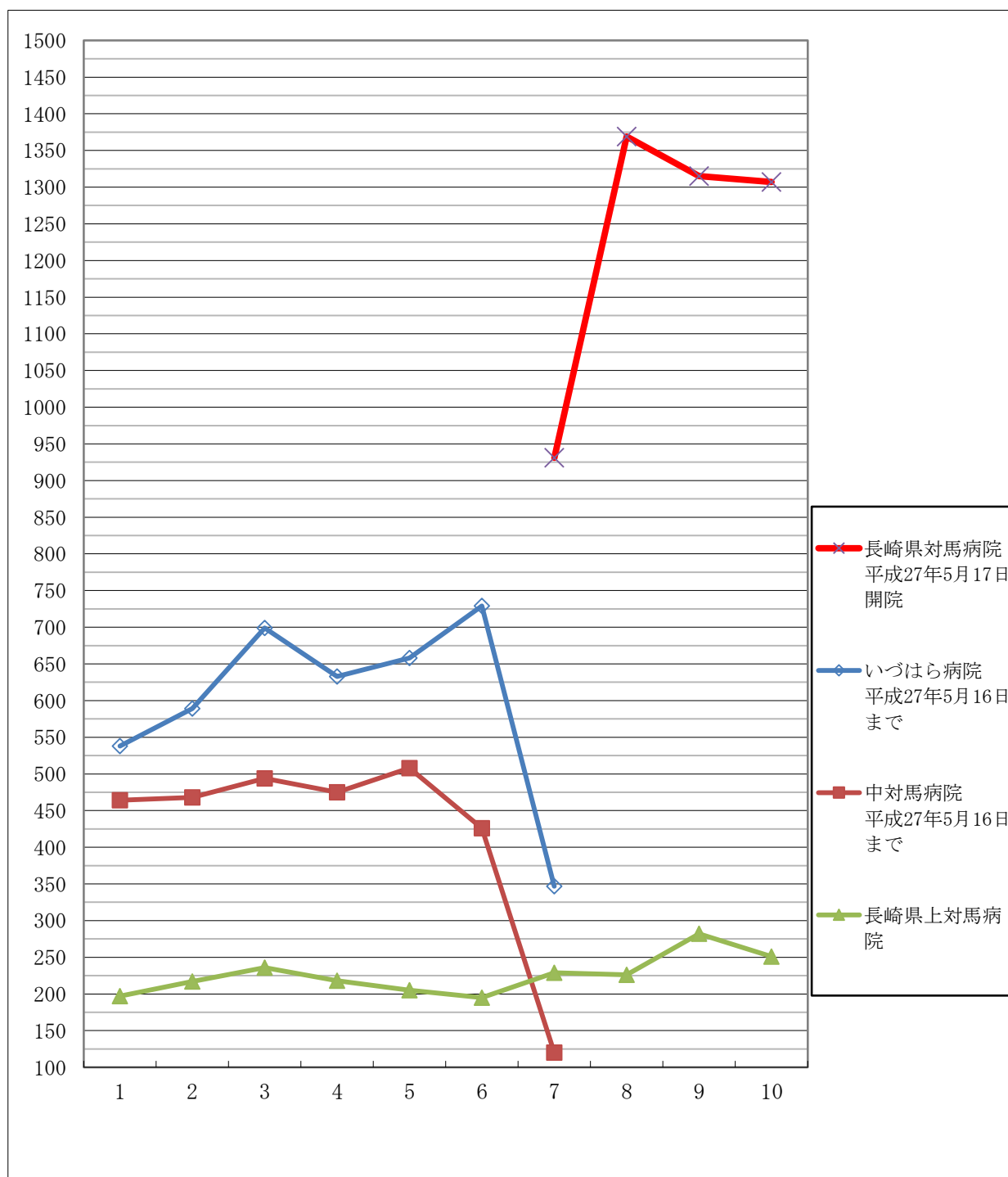
○1日当たりの平均出場件数	4.70 件	○ヘリコプター搬送(下り含む)	25 人
○1日当たりの平均搬送人員	4.40 人	○ドクターヘリ搬送(下り含む)	33 人
○1日の最多出場	15 件	○資機材等搬送	45 人
○人口1,000人当たりの出場件数 55件(切り捨て)		○定期航路	1 人
○住民 17人 に1人の割合で搬送されている(切り捨て)		○医師搬送	0 人
○5時間10分 に1件の割合で救急隊が出場している			

過去 10 年間の救急活動の推移



区分 \ 年	2 1 年	2 2 年	2 3 年	2 4 年	2 5 年	2 6 年	2 7 年	2 8 年	2 9 年	3 0 年
出場件数	1, 369	1, 427	1, 569	1, 503	1, 544	1, 522	1, 804	1, 771	1, 792	1, 727
搬送人員	1, 285	1, 356	1, 496	1, 413	1, 467	1, 438	1, 695	1, 667	1, 674	1, 617
急病	838	955	1, 081	1, 047	1, 047	1, 010	1, 197	1, 210	1, 275	1, 199
交通事故	74	75	81	51	68	65	72	68	95	66
一般負傷	173	142	191	188	179	204	273	206	236	249

過去 10 年間の救急告示病院搬送の推移



病院 \ 年	2 1 年	2 2 年	2 3 年	2 4 年	2 5 年	2 6 年	2 7 年	2 8 年	2 9 年	3 0 年
長崎県対馬病院 平成27年5月17日開院							931	1, 369	1, 315	1, 307
いづはら病院 平成27年5月16日まで	538	589	699	633	658	729	347	0		
中 対 馬 病 院 平成27年5月16日まで	464	468	494	475	508	426	120	0		
長 崎 県 上 対 馬 病 院	197	217	236	218	205	195	229	226	282	251

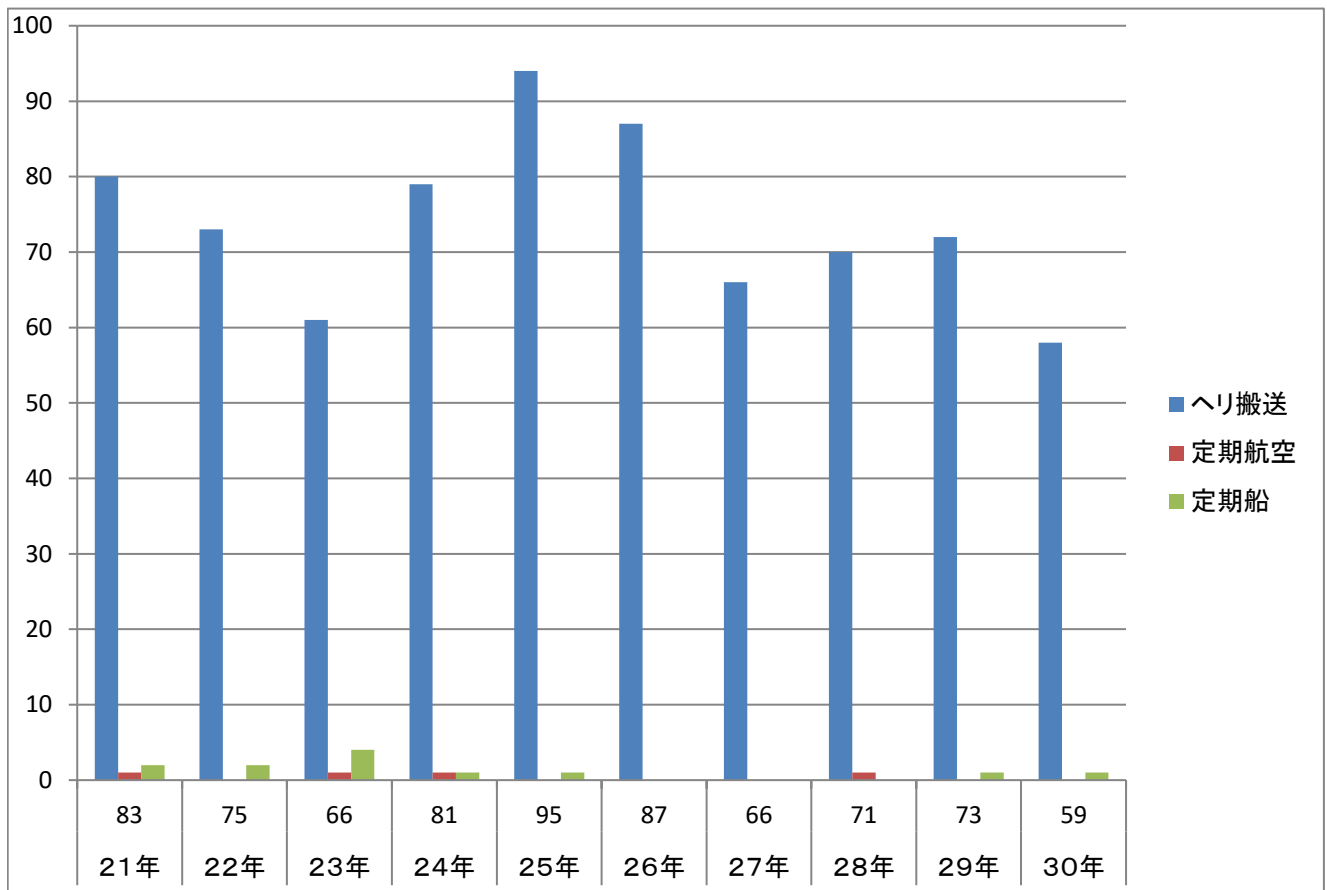
過去10年間の島外搬送の推移

1. ヘリコプター搬送診療科目別状況

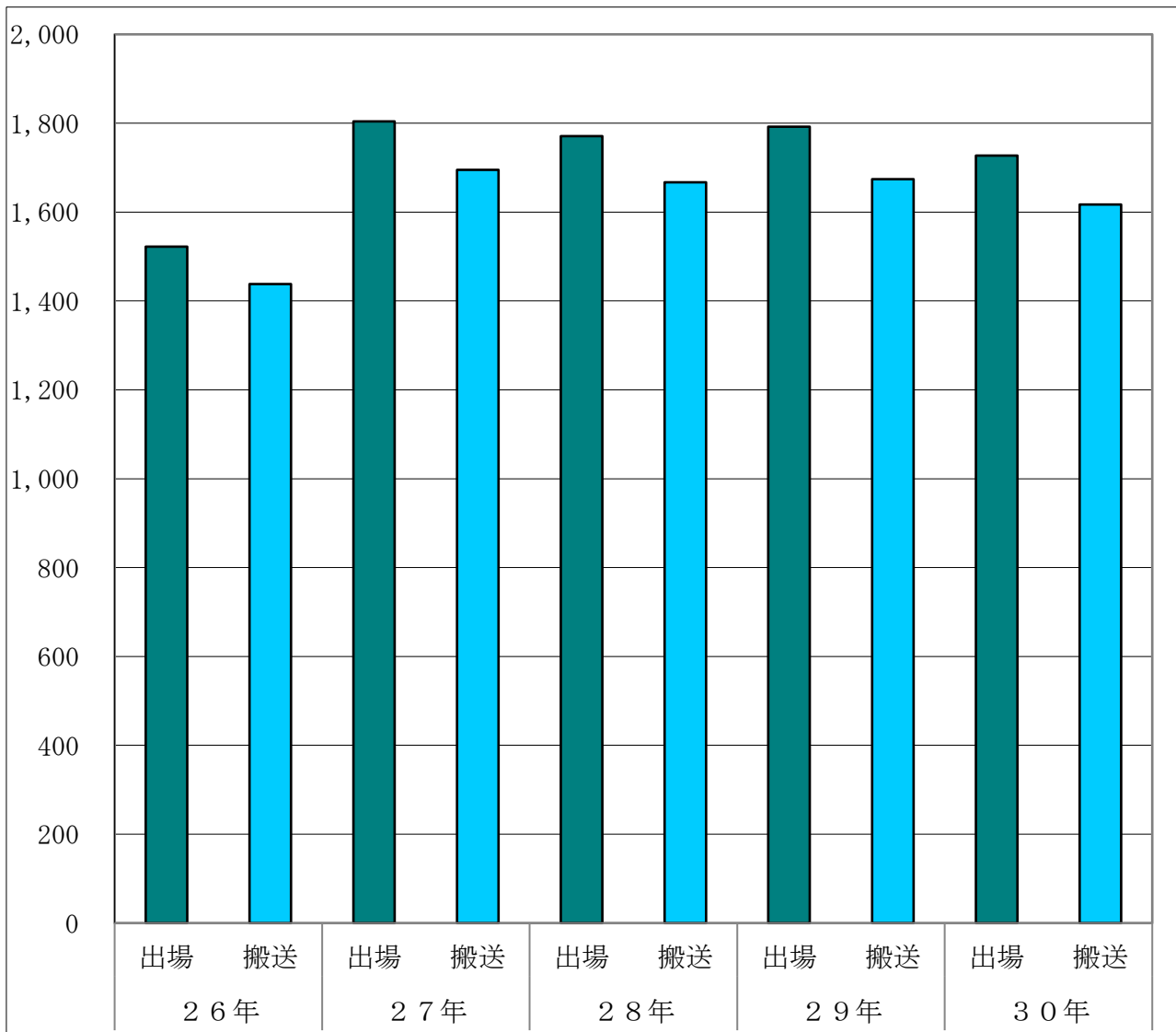
区分 \ 年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
脳外科	39	34	24	50	34	36	31	39	40	35
内科	24	23	29	19	48	33	21	18	17	11
整形外科	8	9	5	3	5	13	9	10	2	6
新生児	2	1			1		1		2	1
その他	7	6	3	7	6	5	4	3	11	5

2. 島外搬送機関別状況

区分 \ 年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
計	83	75	66	81	95	87	66	71	73	59
ヘリ搬送 (うちドクターヘリ)	80 (57)	73 (33)	61 (38)	79 (62)	94 (73)	87 (64)	66 (44)	70 (47)	72 (49)	58 (33)
定期航空	1		1	1				1		
定期船	2	2	4	1	1				1	1



過去 5 年間の事故種別救急活動の推移



種別 \ 年	26 年		27 年		28 年		29 年		30 年	
	出場	搬送	出場	搬送	出場	搬送	出場	搬送	出場	搬送
計	1,522	1,438	1,804	1,695	1,771	1,667	1,792	1,674	1,727	1,617
火 災	1	2					1	1		
自然災害										
水 難	3	3	6	3	6	4	5	5	5	5
交通事故	65	65	72	79	65	68	95	88	66	66
労働災害	9	9	23	24	16	15	12	12	9	9
運動競技	4	4	9	9	5	5	7	6	5	5
一般負傷	204	197	273	265	215	206	236	299	249	249
加 害	3	2	4	4	5	6	2	2	5	6
自損行為	5	1	8	5	10	4	4	1	14	9
急 病	1,010	974	1,197	1,132	1,274	1,210	1,275	1,191	1,199	1,140
そ の 他	218	181	212	174	175	149	155	155	175	128

過去 5 年間の救急活動の推移

区分 \ 年		26	27	28	29	30
対馬市	出場件数	1,522	1,804	1,771	1,792	1,727
	搬送人員	1,438	1,695	1,667	1,674	1,617

過去 5 年間の傷病程度別の推移

() 割合 %

程度 \ 年	26	27	28	29	30	平均件数 (%)
計	1,467	1,438	1,695	1,674	1,617	1,578
	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
死 亡	40	47	42	31	37	39
	(2.7)	(3.3)	(2.5)	(1.9)	(2.3)	(2.5)
重 症	215	206	178	225	202	205
	(14.7)	(14.3)	(10.5)	(13.4)	(12.5)	(13.0)
中等症	605	673	631	648	609	633
	(41.2)	(46.8)	(37.2)	(38.7)	(37.7)	(40.1)
軽 症	555	748	790	746	743	716
	(37.8)	(52.0)	(46.6)	(44.6)	(45.9)	(45.4)
その他	23	21	26	24	26	24
	(1.6)	(1.5)	(1.5)	(1.4)	(1.6)	(1.5)

事故種別・月別救急状況

(平成30年中)

種別区分		計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				不 搬 送
													転 院	医 師	資 機 材	そ の 他	
計	出場件数	1,727			5	66	9	5	249	5	14	1,199	104		45	26	86
	搬送人員	1,617			5	66	9	5	249	6	9	1,140	128				
一 月	出場件数	164			2	7	2		17		1	122	8			5	16
	搬送人員	149			1	7	2		17		1	110	11				
二 月	出場件数	124				2	1		15		2	96	5		1	2	8
	搬送人員	115				2	1		15		2	88	7				
三 月	出場件数	137				5			26		1	94	10		1		11
	搬送人員	125				4			25		1	85	10				
四 月	出場件数	120				4		1	14			91	5		2	3	7
	搬送人員	112				5		1	13			85	8				
五 月	出場件数	130				5		2	17	1		87	13		2	3	5
	搬送人員	123				4		2	17	1		83	16				
六 月	出場件数	134				5	1		11		3	100	7		6	1	6
	搬送人員	123				6	1		11		1	96	8				
七 月	出場件数	180			1	2	1		29		3	127	9		6	2	7
	搬送人員	169			2	2	1		29		1	123	11				
八 月	出場件数	164				10	1		26	1		112	8		4	2	4
	搬送人員	164				12	1		30	1		110	10				
九 月	出場件数	136			1	11	1		24			83	10		4	2	6
	搬送人員	127			1	9	1		23			81	12				
十 月	出場件数	142				6	2	2	20	1	3	91	9		4	4	5
	搬送人員	134				4	2	2	20	1	2	90	13				
十一 月	出場件数	135				3			20	1	1	92	9		8	1	3
	搬送人員	125				3			20	2	1	89	10				
十二 月	出場件数	161			1	6			30	1		104	11		7	1	8
	搬送人員	151			1	8			29	1		100	12				

署所別・月別救急状況

(平成30年中)

署 所 別			本	豆	美	中	峰	北	上
月	区分	計	署	酸 分 遣 所	津 島 出 張 所	部 支 署	出 張 所	部 支 署	対 馬 出 張 所
計	出場件数	1,727	510	108	308	243	247	132	179
	搬送人員	1,617	462	104	303	234	234	108	172
一 月	出場件数	164	48	8	28	21	29	15	15
	搬送人員	149	43	7	25	19	26	15	14
二 月	出場件数	124	31	7	22	23	19	8	14
	搬送人員	115	26	7	22	21	17	8	14
三 月	出場件数	137	41	11	23	15	25	9	13
	搬送人員	125	36	11	21	11	25	9	12
四 月	出場件数	120	43	6	24	13	24	4	6
	搬送人員	112	39	6	22	13	23	3	6
五 月	出場件数	130	41	1	25	22	12	6	23
	搬送人員	123	38	1	25	20	11	5	23
六 月	出場件数	134	45	9	21	19	18	14	8
	搬送人員	123	40	8	22	19	16	10	8
七 月	出場件数	180	51	16	36	30	21	11	15
	搬送人員	169	44	15	36	31	21	8	14
八 月	出場件数	164	49	11	27	30	26	11	10
	搬送人員	164	47	11	28	33	26	9	10
九 月	出場件数	136	32	14	25	18	17	11	19
	搬送人員	127	31	13	24	16	16	9	18
十 月	出場件数	142	40	8	29	14	19	12	20
	搬送人員	134	39	8	29	13	18	9	18
十 一 月	出場件数	135	46	10	20	15	13	17	14
	搬送人員	125	41	10	19	15	13	13	14
十 二 月	出場件数	161	43	7	28	23	24	14	22
	搬送人員	151	38	7	30	23	22	10	21

事故種別・署所別出場状況

(平成30年中)

事故別 署所別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	1,727			5	66	9	5	249	5	14	1,199	175
本 署	510			2	15	2	3	80	4	4	373	27
豆 敷 分 遣 所	108				1	1		16		2	86	2
美 津 島 出 張 所	308				19			57	1	2	176	53
中 部 支 署	243			3	9	2	1	34			184	10
峰 出 張 所	247				11		1	27		3	203	2
北 部 支 署	132				7	1		20		1	82	21
上 対 馬 出 張 所	179				4	3		15		2	95	60

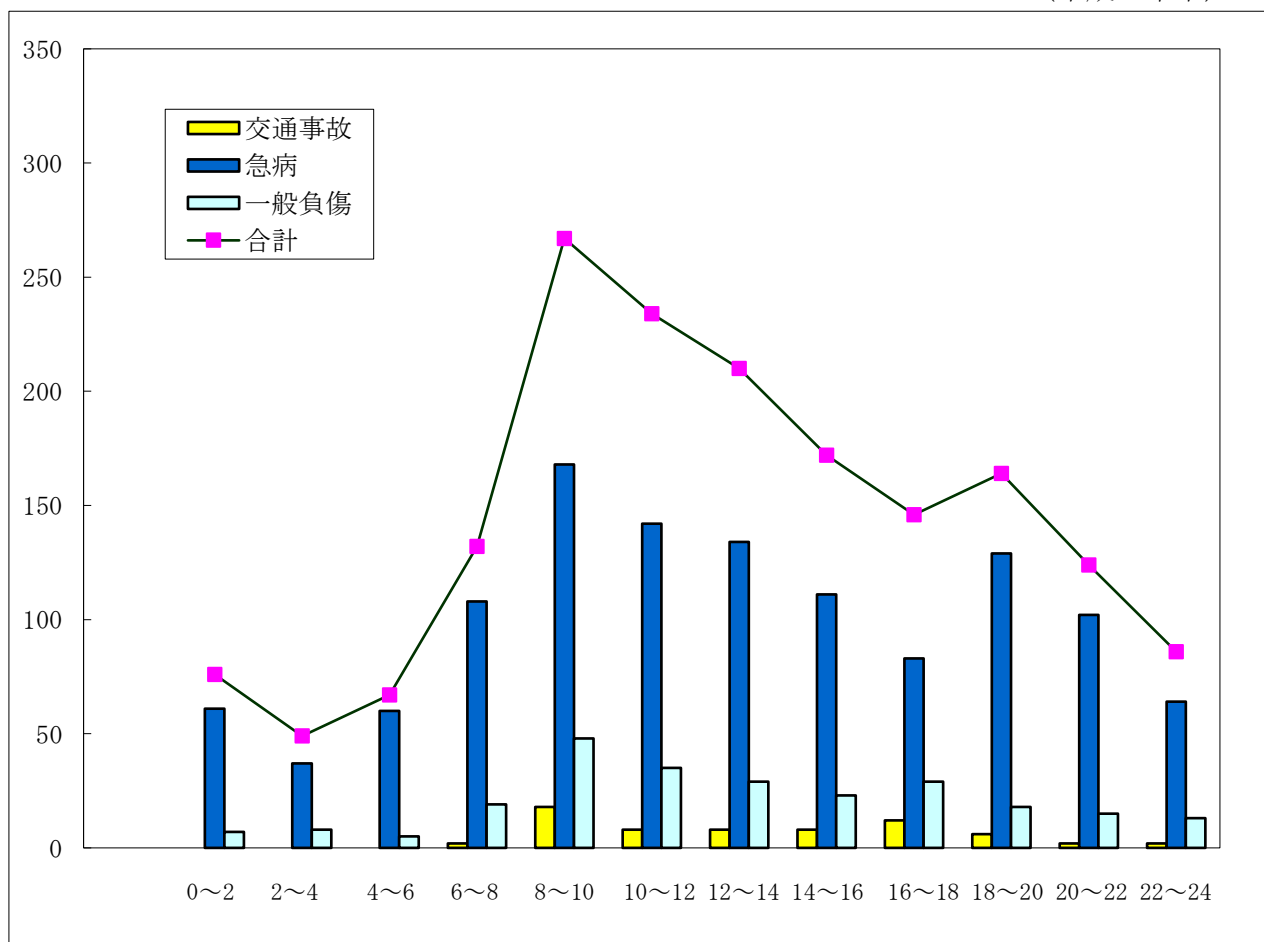
事故種別・曜日別出場状況

(平成30年中)

種別 曜日別	合計	月	火	水	木	金	土	日
合 計	1,727	275	265	243	219	237	253	235
火 災								
自 然 災 害								
水 難	5	3			1		1	
交 通 事 故	66	9	7	6	3	11	20	10
労 働 災 害	9	1	2	2	2	1	1	
運 動 競 技	5		1		1			3
一 般 負 傷	249	33	36	29	35	38	37	41
加 害	5			2	1	1	1	
自 損 行 為	14	4	2	3	1	1	1	2
急 病	1,199	196	190	171	137	158	174	173
そ の 他	175	29	27	30	38	27	18	6

事故種別・時間別出場状況

(平成30年中)



時間別 種別	合計	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
合 計	1,727	76	49	67	132	267	234	210	172	146	164	124	86
火 災													
自 然 災 害													
水 難	5			1			1	3					
交 通 事 故	66				2	18	8	8	8	12	6	2	2
労 働 災 害	9				1	3	2	1		2			
運 動 競 技	5						3		1			1	
一 般 負 傷	249	7	8	5	19	48	35	29	23	29	18	15	13
加 害	5	2	1										2
自 損 行 為	14	2			1				4	3	2		2
急 病	1,199	61	37	60	108	168	142	134	111	83	129	102	64
そ の 他	175	4	3	1	1	30	43	35	25	17	9	4	3

事故種別・傷病程度別・性別搬送状況

(平成30年中)

事故別 程度別		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	男	853			4	34	8	4	125	3	4	602	69
	女	764			1	32	1	1	124	3	5	538	59
	計	1,617			5	66	9	5	249	6	9	1,140	128
死 亡	男	22			2				1		3	16	
	女	15			1						2	12	
	計	37			3				1		5	28	
重 症	男	108				2	3		16			62	25
	女	94				4			16			50	24
	計	202				6	3		32			112	49
中 等 症	男	329				6	3		48			243	29
	女	280				4	1		53		3	197	22
	計	609				10	4		101		3	440	51
軽 症	男	379			2	26	2	4	60	3	1	281	
	女	364				24		1	55	3		279	2
	計	743			2	50	2	5	115	6	1	560	2
そ の 他	男	15											15
	女	11											11
	計	26											26

事故種別・年齢区分別・性別搬送状況

(平成30年中)

事故種別 \ 年齢区分		男	5	10	20	30	40	50	60	70	80
		女	9	19	29	39	49	59	69	79	以上
計		1,617	32	32	49	44	66	132	257	359	646
	1,617	853	24	21	25	21	43	99	159	176	285
		764	8	11	24	23	23	33	98	183	361
火 災											
自 然											
水 難	5	4						1	2	1	
		1								1	
交 通	66	34	2	3	8	2	3	5	6	5	
		32			3	4	2	5	7	8	3
労 災	9	8			1		2	2	3		
		1							1		
運 動	5	4		2	1			1			
		1		1							
一 般	249	125	2	3	2	3	14	11	26	22	42
		124	1	1	4	1	6	5	15	28	63
加 害	6	3						2	1		
		3			1	1		1			
自 損	9	4						3		1	
		5							2	3	
急 病	1,140	602	19	12	11	16	18	61	114	136	215
		538	7	9	16	12	14	19	61	126	274
そ の 他	128	69	1	1	2		6	13	7	11	28
		59				5	1	3	12	17	21

署所別・医療機関等別搬送状況

(平成30年中)

署所別 医療機関等別		合 計		本 署	豆 敷 分 遣 所	美 津 島 出 張 所	中 部 支 署	峰 出 張 所	北 部 支 署	上 対 馬 出 張 所
合 計		計	1,617	461	104	303	234	234	108	173
		割合 (%)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
救急告示病院	対 馬 病 院	計	1,307	460	104	251	234	195	13	50
		割合 (%)	(80.8)	(99.8)	(100.0)	(82.8)	(100.0)	(83.3)	(12.0)	(28.9)
	上 対 馬 病 院	計	251			4		39	95	113
		割合 (%)	(15.5)			(1.3)		(16.7)	(88.0)	(65.3)
その他の医療機関	豊 玉 診 療 所	計								
		割合 (%)								
	豆 敷 診 療 所	計								
		割合 (%)								
	仁 田 診 療 所	計								
		割合 (%)								
その他	ドクターヘリ	計	33	1		25				7
		割合 (%)	(2.0)	(0.2)		(8.3)				(4.0)
	ヘリコプター	計	25			22				3
		割合 (%)	(1.5)			(7.3)				(1.7)
	そ の 他	計	1			1				
		割合 (%)	(0.1)			(0.3)				

医療機関等への収容所要時間別搬送状況

(平成30年中)

時間別 事故別	合 計	10分 未満	10分 ～ 20分	20分 ～ 30分	30分 ～ 60分	60分 ～ 120分	120分 以上
合 計	1,617	4	129	298	843	336	7
急 病	1,140	2	84	224	612	215	3
交 通 事 故	66		7	17	29	12	1
一 般 負 傷	249	2	29	37	135	45	1
そ の 他	162		9	20	67	64	2

病院等の要請による救急出場件数及び搬送人員

(平成30年中)

区 分	要 請 区 分	出 場 件 数	搬 送 人 員
病院等の要請により他の病院へ搬送したもの（転院搬送）	CT等の検査のため	10	10
	その他の検査のため	17	17
	入 院 の た め	0	0
	手 術 の た め	31	31
	そ の 他	11	11
上記以外で病院等の要請により搬送したもの	空 港 ま で 搬 送	0	0
	海自・ドクターヘリ搬送	60	58
	連 絡 船 ま で 搬 送	1	1
	そ の 他	0	0
合 計		130	128

救急隊による応急処置状況

(平成30年中)

傷病程度	各 合 計			応 急 処 置 区 分														
	傷病 程度別 数	応急 処置人 員	応急 処置件 数	止 血	固 定	人胸 工骨 呼圧 吸迫	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	(気管 挿管等)	気道 確保	輸 液・ 薬剤	被 覆	除 細 動	そ の 他	血 圧測 定	聴診 器に よる	酸素 飽和 濃度	心 電 図
合 計	1,617	1,598	4,597	41	101	12	35	352	2	10	11	4	612	1,430	193	1,438	356	
死 亡	37	34	118			8	24	21	2	5		2	5	6	10	12	23	
重 症	202	199	637	2	14	3	11	100		4	2	2	63	179	19	178	60	
中 等 症	609	604	1,770	10	40	1		167			2		219	559	82	558	132	
軽 症	743	738	2,018	29	47			56		1	7		322	668	82	670	136	
そ の 他	26	23	54					8					3	18		20	5	

覚 知 別 出 場 状 況

(平成30年中)

月別 覚知別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	1,727	164	124	137	120	130	134	180	164	136	142	135	161
119番	1,427	137	111	117	111	103	113	147	138	106	115	99	130
加入電話	213	21	10	16	9	22	16	14	14	20	23	26	22
自己覚知	2											1	1
駆け付け	80	6	3	4		5	5	16	10	10	4	9	8
消防無線	4							3	1				
そ の 他	1								1				

過去5年間の月別普通救命講習受講者数

(平成30年中)

年 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	1,082	7	120	27	21	15	315	206	106	35	95	89	46
平成26年	274	7	31				70	49	16	15	35	9	42
平成27年	173		53				42	51	11			16	
平成28年	331		19		10		197	63	21	5	6	10	
平成29年	105				11			3	24	11	23	33	
平成30年	199		17	27		15	6	40	34	4	31	21	4

町別・月別普通救命講習受講者数

(平成30年中)

町 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	199	0	17	27	0	15	6	40	34	4	31	21	4
厳 原 町	143		17	27		14	5	37	17	2	1	21	2
美津島町	9					1	1		6	1			
豊 玉 町	11							2	9				
峰 町	32								1	1	30		
上 県 町	3								1				2
上対馬町	1							1					
豆 酸	0												

救 助



ブーム付き多目的消防ポンプ自動車取扱訓練

救助活動事故種別状況

(平成30年中)

事故種別		火	交	水	自	機	建	ガ	爆	そ
区 分	合 計	災	通	難	然	械	物	ス	発	の
出 動 件 数	20		13	1						6
活 動 件 数	5		1							4
救 助 人 員	6		2							4

事故種別・出動人員活動人員状況

(平成30年中)

事故種別 区分		合	火	交	水	自	機	建	ガ	爆	そ
		計	災	通	難	然	械	物	ス	発	の
出 動 隊 員	合 計	138		98	6						34
	専任救助隊員										
	兼任救助隊員	48		35	3						10
	消 防 隊 員	17		7							10
	救 急 隊 員	73		56	3						14
	消 防 団 員										
活 動 隊 員	合 計	36		8							28
	専任救助隊員										
	兼任救助隊員	9		2							7
	消 防 隊 員	11		1							10
	救 急 隊 員	16		5							11
	消 防 団 員										

救助活動事故種別・発生場所別状況

(平成30年中)

発生場所 \ 事故種別			合計	火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	ガス 酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故
屋内	住居	出動件数										
		活動件数										
		救助人員										
	その他	出動件数										
		活動件数										
		救助人員										
屋外	道路	出動件数	13		13							
		活動件数	1		1							
		救助人員	2		2							
	水面	出動件数	1			1						
		活動件数										
		救助人員										
	山岳	出動件数										
		活動件数										
		救助人員										
	その他	出動件数	6									6
		活動件数	4									4
		救助人員	4									4
地下		出動件数										
		活動件数										
		救助人員										
その他		出動件数										
		活動件数										
		救助人員										
合計		出動件数	20		13	1						6
		活動件数	5		1							4
		救助人員	6		2							4

救助活動のための機械器具等保有状況

(平成31年4月1日現在)

分 類	種 類	合 計	南 部	中 部	北 部
一般救助用器具	かぎ付きはしご	3	1		2
	三連はしご	6	2	2	2
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	11	4	3	4
	空気式救助マット	1	1		
	救命索発射銃	1	1		
	救助者用縛帯	13	6	4	3
	平担架	5	2	2	1
重量物排除器具	油圧ジャッキ	3	1	1	1
	油圧スプレッダー	6	2	2	2
	可搬ウインチ	6	2	2	2
	マンホール救助器具	1	1		
	マット型エアージャッキ	2	1		1
	大型油圧スプレッダー	2	1		1
	救助用支柱器具	1	1		
切断用器具	油圧切断機	6	2	2	2
	エンジンカッター	8	3	2	3
	ガス溶断機	2	1		1
	チェーンソー	10	6	2	2
	鉄線カッター	16	8	4	4
	エアカッター	1	1		
	大型油圧切断機	2	1		1
	レシプロソー	1	1		
	空気鋸	4	2	1	1
破壊用器具	万能斧	20	8	6	6
	ハンマー	19	8	4	7
	携帯用コンクリート破壊器具	1	1		
	削岩機	1	1		
	ハンマドリル	2	2		
測定用器具	可燃性ガス測定器	9	5	2	2
	放射能測定器	18	18		
呼吸保護用器具	空気呼吸器	45	21	9	15
	空気補充用ボンベ	75	28	23	24
	酸素呼吸器	5	5		
	簡易呼吸器	5	5		
	防塵マスク	90	53	16	21
	送排風機	1	1		

分 類	種 類	合 計	南 部	中 部	北 部
隊員保護用器具	耐 電 手 袋	20	14	2	4
	耐 電 衣	3	3		
	耐 電 ズ ボ ン	3	3		
	耐 電 長 靴	4	3		1
	防 塵 メ ガ ネ	93	53	18	22
	防 毒 マ ス ク	26	14	6	6
	耐 熱 服	17	5	5	7
水難救助器具	救 命 胴 衣	24	13	4	7
	救 命 浮 環	26	11	6	9
その他の救助用器具	投 光 器	22	8	6	8
	携 帯 投 光 器	89	45	22	22
	携 帯 拡 声 器	29	11	7	11
	携 帯 無 線 機	39	18	10	11
	応 急 処 置 セ ッ ト	9	4	2	3
	緩 降 機	3	2		1
	発 電 機	25	13	5	7
	救 助 用 降 下 機	1	1		
	バ ス ケ ッ ト 型 担 架	8	4	2	2

消 防 団



対馬市消防団 出初め式

消 防 団 の 機 構 図

平成31年4月1日現在

対馬市消防団	団長	担当	筆頭副団長	副団長	指導員	分団数	実員	定員
	安田 壽和	本 部					8	8
		厳原町	山 本 博 己	西 山 広 実 鎌 田 成 二 松 本 平 治 内 山 義 郎	内 田 英 和 釜 山 直 樹 山 崎 拓 也	11	310	369
		美津島町	築 城 秀 和	山 口 実 穂 波 田 武 治 田 中 俊 勝	西 山 章	10	316	341
		豊玉町	永 留 増 喜	原 田 武 茂 若 松 雅 衛 国 分 寿 一		6	273	289
		峰町	日 高 正 隆	永 留 和 好 渕 上 義 臣 片 山 純 孝		4	173	145
		上県町	津 留 史 好	長 崎 章 小 宮 一 崇 濱 田 利 昭		9	159	190
		上対馬町	柳 田 昭 徳	築 城 慎 一 大 浦 祥 久 今 村 純 一	山 本 祐 介	12	236	258
合 計						52	1,475	1,600

消防団員の階級別・年齢別状況

平成31年4月1日現在

階級 年齢	合 計	うち女性消防団員	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
18歳未満									
18 歳	2								2
19 歳	6								6
20 歳	8							1	7
21 歳	6	1							6
22 歳	12								12
23 歳	14							3	11
24 歳	13							1	12
25 歳	9							1	8
26 歳	16						1	1	14
27 歳	15							4	11
28 歳	26	2						3	23
29 歳	31					1	2	5	23
30 歳	42	1						11	31
31 歳	45						2	7	36
32 歳	41						1	9	31
33 歳	29					2	4	4	19
34 歳	59					1	6	11	41
35 歳	53				1		3	16	33
36 歳	54				1	2	11	9	31
37 歳	67				3		9	15	40
38 歳	52	1			1	1	4	16	30
39 歳	76	1			2	6	13	17	38
40 歳	56				2	1	12	12	29
41 歳	61				2	4	9	18	28
42 歳	64				5	8	13	11	27
43 歳	60			1	7		10	17	25
44 歳	68	1		2	4	4	16	12	30
45 歳	63				3	4	21	8	27
46 歳	45			1	3	5	9	5	22
47 歳	35			2	4	4	6	4	15
48 歳	28			2	3	2	3	2	16
49 歳	38	1		1	5	2	7	2	21
50 歳	24			1		2	8	2	11
51 歳	27			1	4	1	4	3	14
52 歳	24	1		1	3	1	1	2	16
53 歳	25	1		1	3	1	4		16
54 歳	28			4	1		2	3	18
55 歳	16			1				3	12
56 歳	16			1			1		14
57 歳	13			1			1	2	9
58 歳	18			1					17
59 歳	10								10
60 歳	17			2					15
61 歳	13			1					12
62 歳	10		1	1					8
63 歳	7								7
64 歳	15								15
65歳以上	18						1		17
計	1,475	10	1	25	57	52	184	240	916
平均年齢	39.5	38.2	62.0	52.3	45.1	43.0	42.5	38.6	40.9

消 防 団 階 級 別 人 員

上段（定員） 下段（実員）

（単位：人）

平成31年4月1日現在

	担 当	団 長	副団長	指導員	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別消防団員	計
対馬市消防団	本 部	1	6						1		8
		1	6						1		8
	厳 原		4	3	11	11	33	44	263		369
			4	3	11	11	33	44	178	26	310
	美津島		3	2	10	10	39	49	228		341
			3	1	10	10	39	49	183	21	316
	豊 玉		3	1	6	6	35	41	197		289
			3		6	6	35	41	144	38	273
	峰		3	1	4	4	20	24	89		145
			3		4	4	20	24	85	33	173
	上 県		3	1	9	9	27	36	105		190
			3		9	9	27	35	75	1	159
	上対馬		3	1	12	12	29	41	160		258
			3	1	12	12	29	42	119	18	236
合 計		1	25	9	52	52	183	235	1,043		1,600
		1	25	5	52	52	183	235	785	137	1,475

消防団手当・助成金等

（単位：円）

平成31年4月1日現在

区 分	団員出動手当等		
	単位	金額	備考
火災出動	放水無し	2, 0 0 0 円	
	放水有り	4, 0 0 0 円	
人命捜索・災害防ぎょ 出動	4 時間以内	2, 0 0 0 円	
	4 時間超	4, 0 0 0 円	
警戒・災害待機	4 時間以内	1, 0 0 0 円	
	4 時間超	2, 0 0 0 円	
分団運営費助成金	基本消防団員	13, 0 0 0 円	一人当たり年額
	機能別消防団員	5, 0 0 0 円	
ポンプ車	機械管理	24, 0 0 0 円	
小型ポンプ	機械管理	24, 0 0 0 円	